クボタテーラー

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために，操作装置のシンボルマークが使用されています。シンボルマークの意味は下記のとおりですのでよく理解して戴き誤操作のないようご注意ください。

エンジン停止

チョークレバー

ガソリン燃料

専門用語の説明

用語	説明
ON	燃料コック［開］
PTO	動力取出し軸
OFF	燃料コック［閉］

はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は本製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され，お買上げの製品がすぐれた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。
また，お読みになったあとも製品に近接して保存し，わからないことがあったときには取出してお読みください。なお，品質・性能向上あるいは安全上，使用部品の変更を行なうことがあります。その際には，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお， 表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げの販売店に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負うことになるものを示します。

注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。

注意事項を守らないと，ケガを負うおそれのあるものを示します。

重　要

注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

補　足

その他，使用上役立つ補足説明を示します。

本製品の使用目的について

本製品は，農業用機械ですので農作業以外では使用しないでください。
使用目的以外の作業，また夜間作業や改造はしないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は，保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳細は保証書をご覧ください。）

仕様について

この取扱説明書では，仕様の異なる製品を下記のように表示していますので，お買上げの製品の仕様をお確かめのうえ，お間違いのないようお願いいたします。
なお，説明は〔TG7000〕を基本とし，〔TG7000〕と取扱いが異なる場合はそのつど追加説明してあります。従って，型式及び仕様区分によっては付いていない装置の説明もあります。

〔TG7000〕
- ● 4.00-10　タイヤ付 ………………………………… T 仕様
- ● 4.00-12　タイヤ付 ………………………………… K 仕様
- ● 4.00-9　タイヤ付 ………………………………… S 仕様
- ●ウエイト付………………………………………… W 仕様
- ●マッドガード付…………………………………… M 仕様
- ●ユニバーサルヒッチ付…………………………… U 仕様
- ●コンパクトロータリ（耕幅 60cm）付……………… R 仕様
- ●フルカットロータリ（耕幅 60cm）付……………… F 仕様

〔TG9000〕
- ●セルスタータ付…………………………………… E 仕様
- ●マッドガード付…………………………………… M 仕様
- ●標準ロータリ（耕幅 60cm）付…………………… R 仕様
- ●フルカットロータリ（耕幅 60cm）付……………… F 仕様
- ●延長爪軸（耕幅 60cm → 80cm へ延長）付 ………… D 仕様
- ● 250 号爪付………………………………………… Y 仕様

目　次

⚠安全に作業するために

運転する前に 1
始動するとき 2
移動，作業するとき 3
作業が終わったとき 7
点検・給油・整備時に 7
表示ラベルと貼付け位置 10
表示ラベルの手入れ 11

サービスと保証について

各部の名称と装置の取扱い

作業前の点検

調子よく作業するために 6
安全に作業するために 9

運転のしかた

新車時の扱いかた 10
ならし運転（最初の 10 時間まで）........ 10
エンジンの始動と停止のしかた 10
リコイル始動のしかた 10
セルスタータ始動のしかた［E 仕様］...... 11
停止のしかた 12
発進のしかた 13

作業のしかた

上手な作業のしかた 14
作業前の準備 14
耕うん作業手順［R・F 仕様］............ 14
旋回手順［全仕様］..................... 14
各部の調節 15
エアクリーナの調節 15
ハンドル高さの調節 15
輪距の調節・車輪交換のしかた 15
後輪の調節（耕深調節・移動）........... 16
サイドカバーの調節 16
培土機の取付けかた 17
ロータリの着脱のしかた 18

テーラーの簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について 20
日常の手入れ 20
エンジンオイルの交換 20
ミッションオイルの交換 20
ロータリケースオイルの交換 21
副チェーンケースのグリース補充
［R・F 仕様］.......................... 22
エアクリーナエレメントの清掃と
オイル交換 23
燃料チューブの交換 23
燃料フィルタの清掃 24
点火プラグの調節・清掃・交換 24
タイヤ空気圧 25
主クラッチケーブルの調節 25
操向クラッチケーブルの調節 27
駐車ブレーキの調節 27
ハンドル高さの調節 27
スロットルレバーの調節 27
バックけん制装置の調節 28
ロータリケーブルの調節 28
耕うん爪の取付けかた 28
使用後の手入れ 31
エンジン始動不良を防ぐために 31
長期格納時の手入れ 31
燃料の抜取り 31
バッテリの点検 32
バッテリの交換 32
専用充電器での補充電方法 32
電気配線及びヒューズ 36
ヒューズの交換 36
洗車時の注意 37

テーラーを運搬するとき

自動車（トラック）への積込み，運搬 .. 38

付表

主要諸元 39
オプション部品 42
標準付属部品 43
主な消耗部品一覧表 43

トラブルと処置

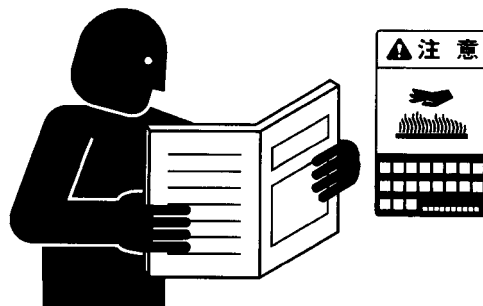
⚠ 安全に作業するために　　必ず読んでください

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠危険・⚠警告・⚠注意・重要・補足としてそのつど取上げています。

運転する前に

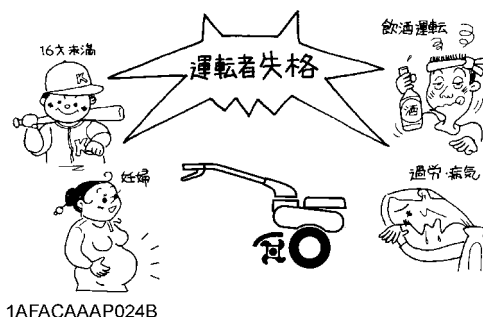
■ 運転前に

- 機械を動かす前に，取扱説明書と機械に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み，理解した上で運転してください。
- 機械の運転操作，特に主クラッチ［切］はすばやくできるよう，よく練習し，じゅうぶんに慣れてから作業してください。

1AGAAAPAP062C

■ 使用する人は

次の項目に該当する場合は，機械を使用しないでください。

- 本書及びラベルの内容が理解できない人
- 視力不足などのため表示内容が読めない人
- 飲酒時や体調が悪いとき，また妊娠中の人
- 16 才未満の人
- ハンドルを操縦する体力に自信のない方

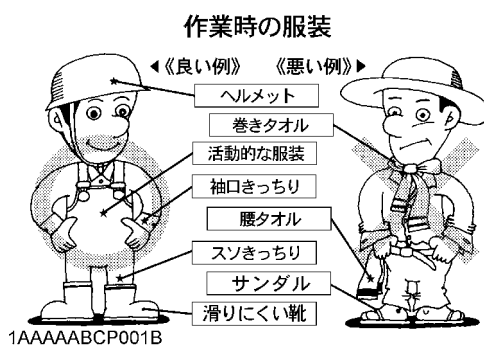
1AFACAAAP024B

■ 使用する人の服装は

- 回転部分や操縦装置にひっかかり事故の原因になる，だぶついた服，腰タオルなどはやめてください。
- ヘルメット，安全靴，保護メガネや手袋などを必要により着用してください。

作業時の服装

◀《良い例》　《悪い例》▶

ヘルメット
巻きタオル
活動的な服装
袖口きっちり
腰タオル
スソきっちり
サンダル
滑りにくい靴

1AAAAABCP001B

■ 周囲への注意

- 子供，ペットを近づけないでください。
- 見物人を近くに寄せないでください。
- 共同作業者がいるときは，互いに注意してください。

■ 他人に貸すときは

1AKABAIAP048A

- 事前に運転のしかたを教え，**［取扱説明書］**を必ず読んでもらってください。
- 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供には絶対運転させないでください。

■ 給油・注油するとき［火気厳禁］

1AFACAAAP025B

- 燃料の給油・各部への注油時は必ずエンジンを停止し，規定量以上入れないでください。
- エンジン回転中やエンジンが熱い間は火災のおそれがあるので給油はしないでください。
- 煙草を吸ったり火気を近づけないでください。
- 給油口の赤色ゲージ以上に燃料を入れないでください。

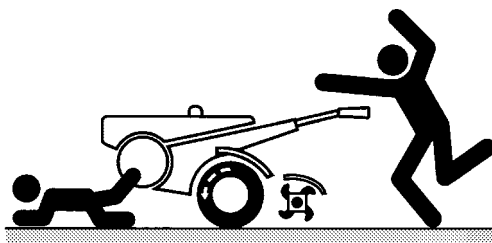
- 燃料補給後，給油キャップはもれないようしっかり締めてください。

- こぼれた燃料はふき取ってください。

始動するとき

■ エンジンを回すとき

1AFACAAAP026B

- 必ず本機の主クラッチレバーを**［切］**り，主変速レバーは**［中立］**にして，付近に人（特に子供）を近づけないでください。
- もし主クラッチや変速が入っていると車体や爪軸が急に動いて事故になるおそれがあります。
- リコイルスタータを引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。

■ 排気ガスに注意

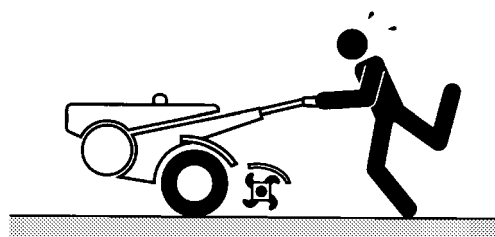
1AKABAIAP055A

- 換気が不じゅうぶんな所では，暖機運転や作業はしないでください。
  排気ガスにより一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- ハウス内では排気ガスが充満しないように，じゅうぶんに換気を行なってください。
  排気ガスによる中毒を起こし，死亡事故にいたるおそれがあります。

移動，作業するとき

■ 発進するとき

1AFACAAAP028B

- 速い速度での走行はじゅうぶん注意してください。
- 車速の最低速で主クラッチレバーの **[入]** はゆっくり，**[切]** はすばやくの操作を習熟した上で使用してください。
- 小走りになるようなスピードを出したり，急発進，急旋回はしないでください。転倒などのおそれがあります。
- 後進の発進時は，ハンドルが持上がりやすいので，エンジンの回転を下げ，しっかりハンドルを押えながらゆっくり主クラッチを入れてください。

■ トレーラ走行禁止

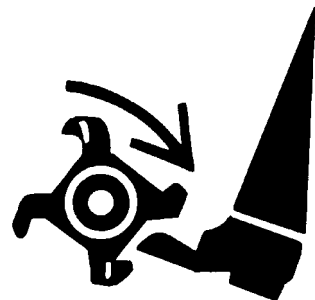
- 小型特殊自動車の認定を受けておりませんので，一般公道でのトレーラ走行はしないでください。一般公道を走行すると，道路運送車両法に違反しますので，一般公道を移動するときは，自動車（トラック）に積んで運搬してください。

■ ロータ装着時後進は禁止

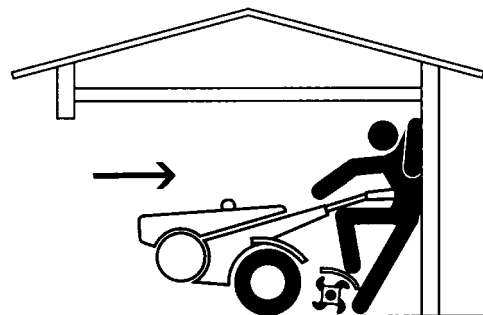
1AFAEAAAP040B

- ハンドルが跳上がり回転する爪に巻込まれるおそれがあるので **[後進]** に変速しないでください。

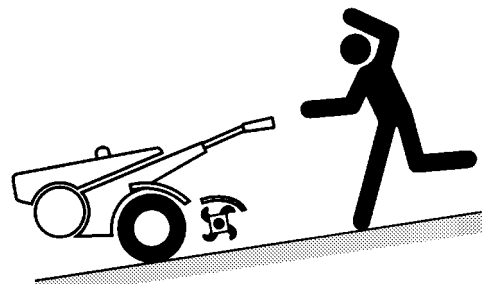
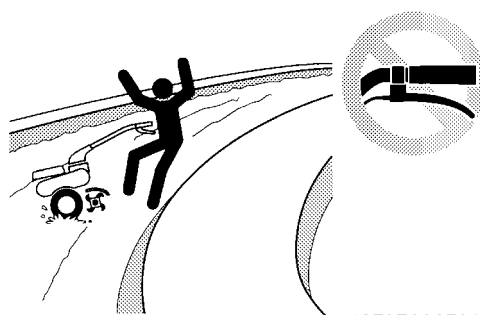
■ **移動するとき**

- 移動の際は，必ずロータリの回転を止めてください。

1AFACAAAP034C

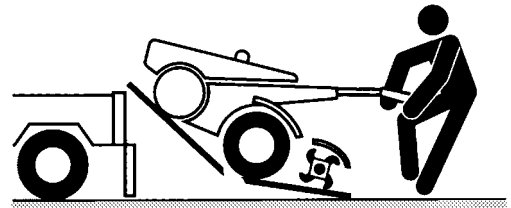
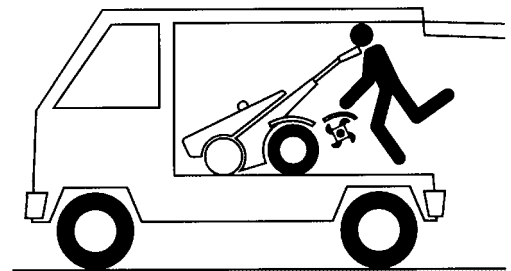
■ **ハウス，車庫等での移動**

- 後方の壁，支柱，天井など障害物にはさまれるおそれがあるのでエンジン回転を下げて後進してください。
- 屋根の低いハウス内や車の荷台では，エンジンを停止して手で引き出してください。

1AFACAAAP030B

■ **坂道を移動するとき**

- 坂道，ほ場の出入り，あぜの乗越えなどの途中で主クラッチを［**切**］ったり，主変速を［**中立**］にすると，機体が思わぬ方向に進み危険です。
- 変速操作は，機械が平坦な場所以外では行なわないでください。落下や転倒のおそれがあります。
- 坂道や凹凸，カーブの多い路上で高速運転すると，転倒したりして危険ですから必ず低速運転してください。
- 坂道で操向クラッチを操作すると，思わぬ方向に曲がり転倒のおそれがありますので，必ずハンドル操作で方向転換してください。

1AFACAAAP031B

1AFAEAAAP041C

■ **運搬・積降ろしするとき**

- 積込み・積降ろしは，平坦で交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。
- アユミ板はすべり止めのついた，機体重量に耐えるもので，トラックの荷台の高さ［1］に対しアユミ板の長さ［4以上］のものを使用し，確実に固定してください。
- ロータを装着しているときは，タイヤと交換して行なってください。ロータでの，アユミ板の上り・下りは危険です。絶対にしないでください。
- 足元に注意し，車速は最低速で，上りは **［前進］** 下りは **［後進］** で行ない，途中で主クラッチを切ったり，変速操作をしないでください。落下・転倒のおそれがあります。
- 車などで運搬するときは，荷台に天井がある車を使用すると天井に首や体をはさまれるおそれがありますので，必ず荷台に天井がない車を使用してください。
- 燃料コックレバーを必ず **［閉］** にし，給油キャップはもれないようしっかり締めてください。燃料もれが発生し，火災や爆発のおそれがあります。
- 機体の固定はフロントヒッチ・ハンドル・リヤヒッチ・後輪部のいずれか2箇所を使ってロープ掛けを行ない，確実に床に固定してください。

1AFACAAAP032B

1AFACAAAP033B

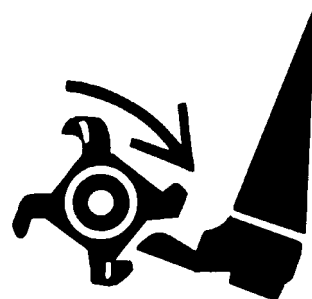
■ **耕うん作業するとき**

- いつでも主クラッチが **［切］** れる姿勢で運転してください。車軸（ロータ）・爪軸（ロータリ）作業開始時や作業中，機体が思わぬ方向に飛出し転倒や人身事故のおそれがあります。
- 作業前に，ほ場の状態をよく確認して，石・材木・針金・空カン・空ビンなどを取除いてください。
- 作業前，作業後には機械の整備・点検を行なってください。特にエンジン本体，マフラ周辺，配線部にワラくずなどがたまっていると，火災の原因になります。
- 周辺の枯れ草やたい積ワラなどは作業前に取除くか移動させてください。機械のマフラが接触すると，発火するおそれがあります。
- ほ場の中や周囲にある支柱，樹木や段差などは，作業前に位置を確認し，後進時にはさまれたり，転倒・転落しないよう安全な距離を保って，近づかないよう作業してください。
- ハウスや小屋の中，果樹園など障害物がある場所では，周囲をよく確認しながら作業してください。特に後進，旋回するときは，エンジン回転を下げ，ハンドルをしっかり押えて行なってください。

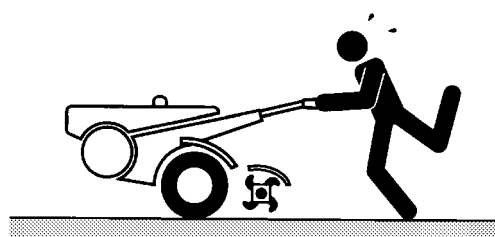
1AFACAAAP029B

- 長いワラ・草など作業に支障のあるものは，作業前に取除いてください。機体が思わぬ方向に飛出し，転倒などのおそれがあります。

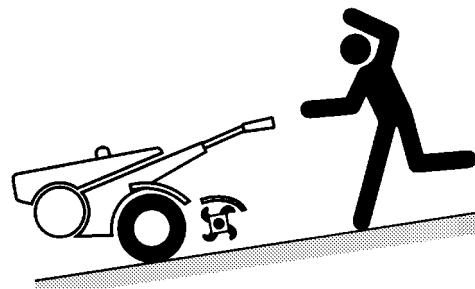
■ **回転している爪に注意**

- ハンドル部を持上げ旋回するとき，足元及び周囲に十分注意しないと回転する爪に巻込まれるおそれがあります。

1AFACAAAP034C

■ **ほ場が硬いとき**

- 硬いほ場では車速を遅めにして，耕深も浅めで作業を行なってください。機体が飛出すおそれがあります。

1AFACAAAP028B

■ **機械から離れるとき**

- エンジンは必ず停止させ，駐車ブレーキをかけて平坦で安定した場所に停車してください。移動・落下するおそれがあります。
  (やむなく傾斜地に止めるときは車止めをしてください)
- 周囲に草・ワラなど燃えやすいものがある場所に止めないでください。火災のおそれがあります。

1AFACAAAP031B

■ **PTO 軸を使用するとき**

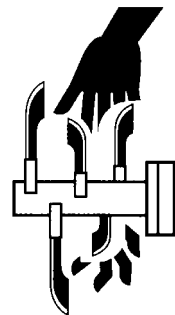
＊ 回転物に巻込まれるおそれがあるので，まわりにカバーや囲いをしてください。

＊ 使用しないときはカバーを組付けてください。

1AFAEAAAP031B

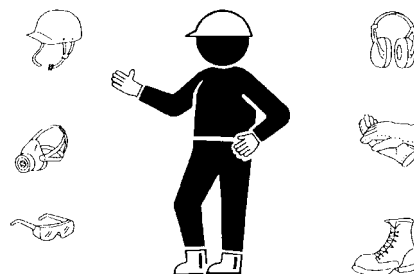
作業が終わったとき

■ 掃除をするとき

● 車軸（ロータ）・爪軸（ロータリ）等に巻付いた草・ワラ・泥土等を取除くときは，巻込まれるおそれがあるので，必ずエンジンを停止してください。

1AFACAAAP036B

点検・給油・整備時に

■ 点検・整備時の服装と保護具

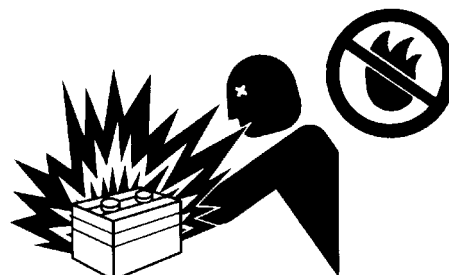
● 点検整備にはヘルメット，安全靴と安全な服装を着用してください。
作業内容によっては保護めがね，防塵マスク，防音具，保護手袋などの保護具を着用してください。
各保護具は使用前に機能を確認してください。

1AGADAPAP122B

■ 点検・整備前の準備

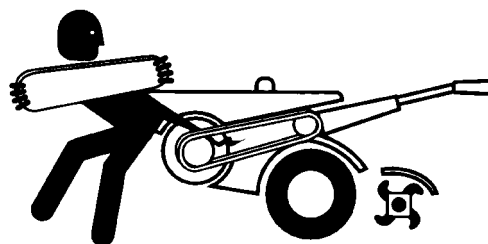
● 点検，整備，アタッチメントの脱着などは，機械が転倒しない平たんな所に機械を安定させて，エンジンを止め，高温部が冷めてから行なってください。

1AKABAIAP071A

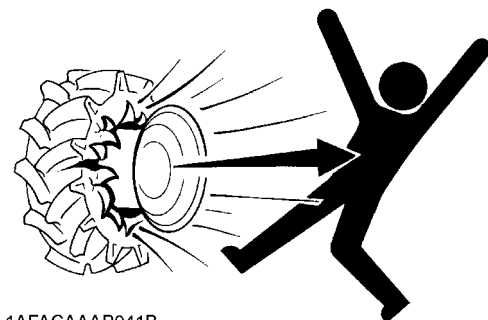
■ バッテリを点検するとき

● バッテリは充電中引火性ガスを発生し爆発の危険性がありますので，タバコをすったり火気を近づけないでください。

1AKACAIAP397B

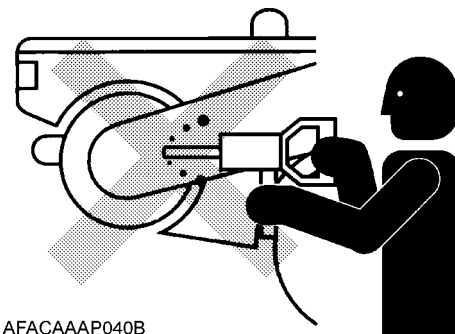
■ **カバー類は必ずつける**

- ベルトカバーなどの防護カバーを取外すときは，巻込まれるおそれがあるので，必ずエンジンを停止してください。
- 取外したカバー類は元通り組付けてください。

1AFACAAAP037B

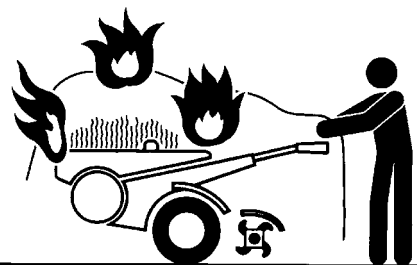
■ **タイヤの整備**

- タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引き起こす原因になります。
- タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
- タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。
（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

1AFACAAAP041B

■ **機械の改造禁止**

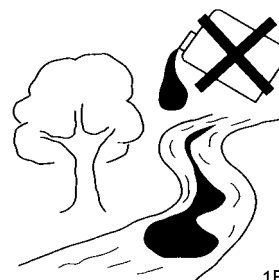
- 機械を改造しないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながるおそれがあります。

1AFACAAAP040B

■ **格納するとき**

- 機体に保管用カバーをかけるときは，火災予防のため高温部が冷めてから行なってください。
- 火災防止のため，草・ワラ等可燃物のあるところでの保管はしないでください。

1AFACAAAP076A

■ 廃棄物の処理について

1BJABAAAP0180

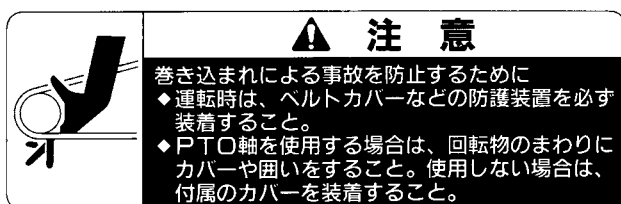
- 廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
- 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
- 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
- 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。

■ 夜間作業の禁止について

- 本機は夜間作業灯を装備していませんので，夜間作業はしないでください。思わぬ事故になるおそれがあります。

表示ラベルと貼付け位置

(1) 品番　60932-4825-1

1AFACAAAP043A

(2) 品番　KK221-4750-1

1AFAGAAAP0050

(3) 品番　KA791-4731-1

1AFACACAP003A

1AFAGAAAP008A

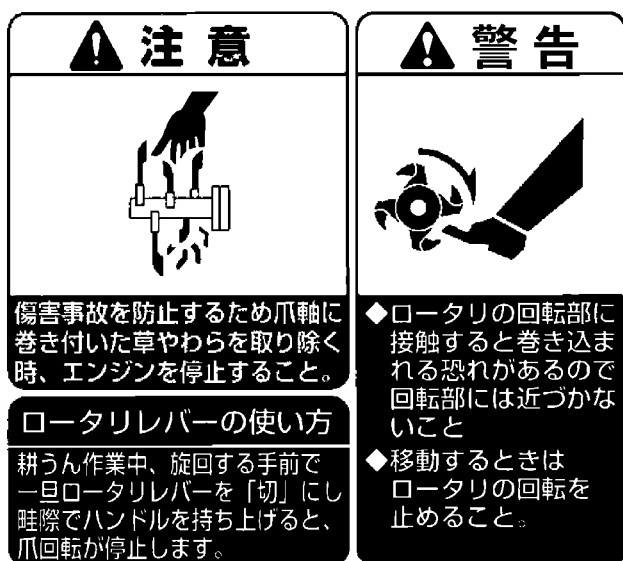
1AFAGAAAP0100

(4) 品番　KF221-4718-1

警告

後方に機械を移動する時は、
◆溝や壁などの障害物がないことを、確認すること。
◆屋根の低いハウス内や車の荷台では、エンジンを停止して、手で移動させること。

1AFAGAAAP0060

(5) 品番　KF216-3613-1

1AFAGAAAP0070

(6) 品番　KA791-4735-1

注　意

巻き込まれによる傷害事故防止の為
運転時は、ロータリサイドカバーを
必ず装着すること。

1AFACAAAP075A

(7) 品番　KF211−4745−1 [TG7000]

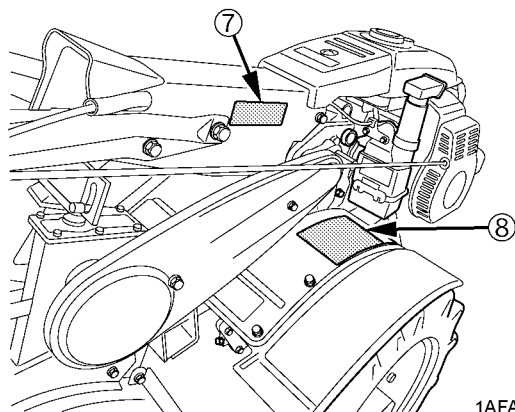
⚠ 警　告

前進6速・後進2速は大変速く、機体が飛出しケガをする恐れがあるので、トレーラ作業以外で使用しないこと。必ず高速けん制ボルトを「入」の位置に確実に固定すること。

1AFAGAAAP111A

(7) 品番　KF221−4745−1 [TG9000]

⚠ 警　告

前進6速・後進2速は大変速く、機体が飛出しケガをする恐れがあるので、トレーラ作業以外で使用しないこと。必ず高速けん制ボルトを「入」の位置に確実に固定すること。

1AFAGAAAP112A

1AFAGAAAP114A

(8) 品番　KF211−4721−1

1AFAGAAAP113B

表示ラベルの手入れ

- ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
  もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
- 高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
- 破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全に拭取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
- ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

サービスと保証について

この製品には，保証書が添付してありますので，ご使用前によくご覧ください。

■ ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先にそれぞれ **［ご相談窓口］** を設けておりますのでお気軽にご相談ください。
その際　(1) 型式名・販売型式名と車台番号
　　　　(2) エンジン番号
をあわせてご連絡ください。
なお，部品ご注文の際は，購入先に純正部品表を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

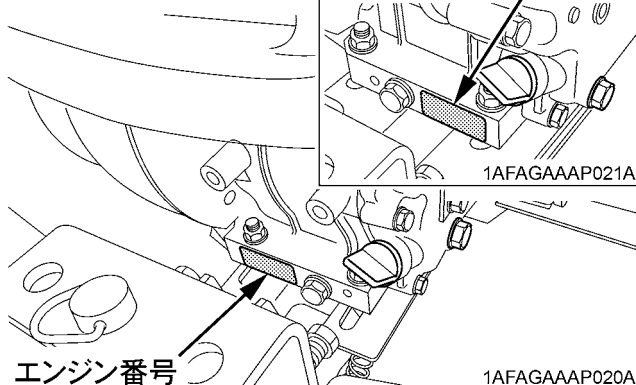
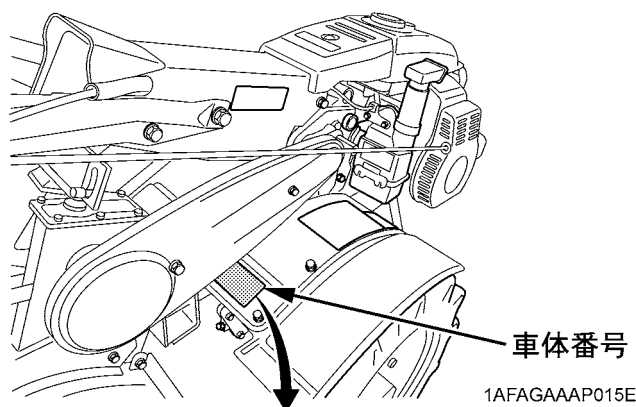
＊ 機械を改造しないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか，人身事故にもつながるおそれがあります。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

◆ 認定番号

安全鑑定の農機型式名及び番号が必要な場合は，下記の型式名及び番号をご使用ください。

農機型式名	販売型式名	安全鑑定番号
TG7000	TG7000	34042/10
TG9000	TG9000 TG9000-E	34043/10

■ 補修用部品の供給年限について

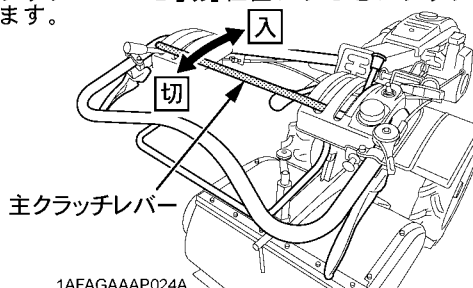
この製品の補修用部品の供給年限（期限）は製造打ち切り後９年といたします。
ただし，供給年限内であっても特殊部品につきましては，納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了致しますが，供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には，納期及び価格についてご相談させていただきます。

＊ 公道でのトレーラ走行はできません。
小型特殊自動車の認定を受けておりません。
公道を走行すると，道路運送車両法に違反します。
公道を移動するときは，自動車（トラック）に積んで運搬してください。

各部の名称と装置の取扱い

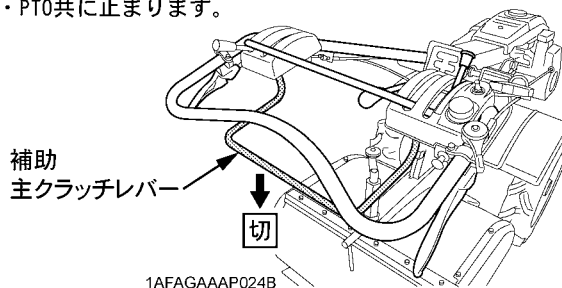
主クラッチレバー

注 意

＊傾斜地や後進するときなどは，ハンドルが持上がり危険な場合がありますので，主クラッチレバーをゆっくり操作してください。
＊狭い場所や後進の運転についてはエンジンの回転を低速にし，後方や上方など周りの安全を確かめ，ゆっくりと主クラッチレバーを操作してください。

エンジンからの動力を断続します。
1．主クラッチレバーを**[入]**位置にするとクラッチが入ります。
2．主クラッチレバーを**[切]**位置にするとクラッチが切れます。

1AFAGAAAP024A

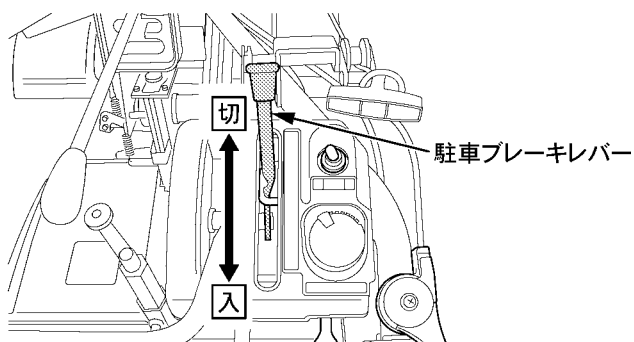
補助主クラッチレバー

非常時にレバーを下方に押下げると，主クラッチが切れ，走行・PTO共に止まります。

1AFAGAAAP024B

駐車ブレーキレバー

注 意

＊駐車ブレーキ[入]のときは，操向クラッチを使用しないでください。ブレーキが外れ坂道など機体が動くおそれがあります。

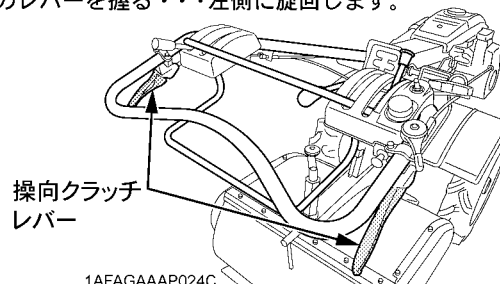
ブレーキレバーを**[入]**位置にすると駐車ブレーキがかかります。**[切]**位置にすると駐車ブレーキが解除されます。

1AFAGAAAP026A

1AFAGAAAP028A

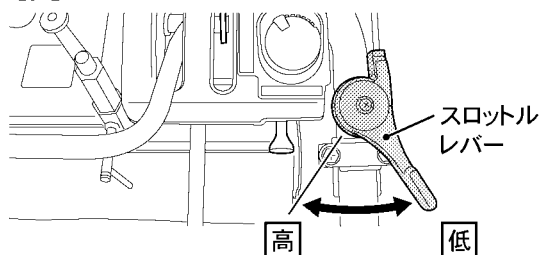
操向クラッチレバー

注 意

＊車両への積降ろし時や坂道では，絶対に操作しないでください。

● 右側のレバーを握る・・・右側に旋回します。
● 左側のレバーを握る・・・左側に旋回します。

1AFAGAAAP024C

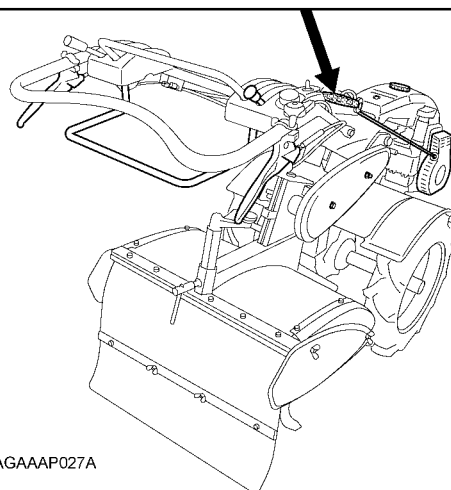
スロットルレバー

エンジン回転の調節をします。
1．**[高]**の方向に回すと回転が上がります。
2．**[低]**の方向に回すと回転が下がります。

1AFAGAAAP026B

リコイルスタータ

注 意

＊リコイルスタータを引っ張る方向に人がいないか，突起物障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。

エンジン始動時に使用します。主クラッチレバーを**[切]**にし，メインスイッチを**[運転]**にしてリコイルを引っ張ると始動します。

1AFAGAAAP027A

主変速レバー

注意

＊エンジンを始動する前に，必ずレバーを［中立］にしてください。
＊変速操作は主クラッチを［切］ってから行なってください。
＊走行中は変速しないでください。

- 変速は前進６段，後進２段です。前進６速，後進２速を使用するときは，けん制ボルトをゆるめ，［**切**］位置に切替えてください。
  使用後は必ず［**入**］位置に戻して，けん制ボルトを確実に固定してください。
- ロータリレバーが［**入**］のきは，主変速レバーは［**後進**］には入りません。
  （R・F仕様のみ）

1AFAGAAAP030A　1AFAGAAAP031A

メインスイッチ

［E仕様以外］
エンジンの運転・停止に用います。

補足
＊非常時にはメインスイッチを押してください。
　エンジンが停止します。

運転時

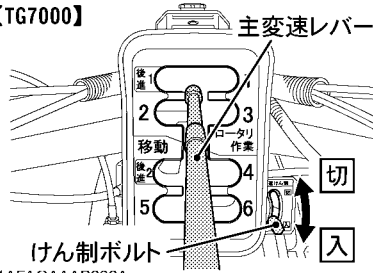
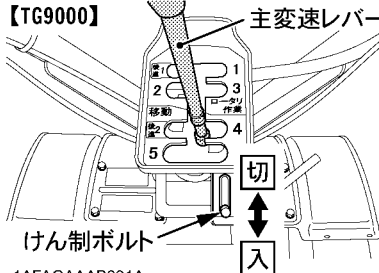
停止時

1AFAAAAAP184D ［押す］　［押す］

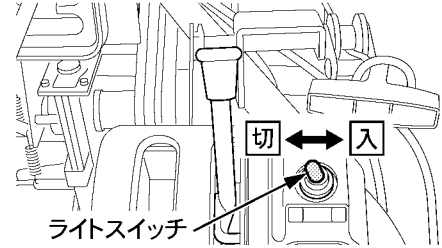
スイッチを押しながら（運転）位置に回すと始動が可能です。

スイッチを押すと左に回り（停止）位置に戻り，エンジンが停止します。

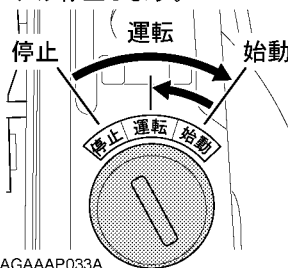
［E仕様］
エンジンの運転・停止に用います。

◆運転時
　スイッチを［**運転**］位置にすると始動が可能です。
◆停止時
　［**停止**］位置にするとエンジンが停止します。
◆始動時
　［**始動**］位置まで回し，エンジンを始動します。
　エンジンが始動したらスイッチから手を離すとスイッチが自動的に［**運転**］位置に戻ります。

1AFAGAAAP033A

ライトスイッチ

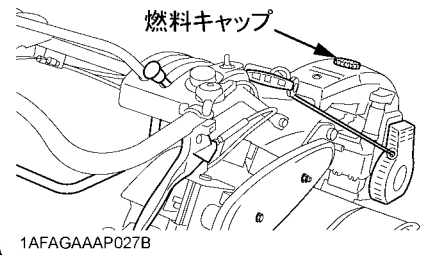
1．スイッチを［**入**］位置にするとライトが点灯します。（エンジン運転時）
2．スイッチを［**切**］位置にするとライトが消灯します。

1AFAGAAAP026C

チョークレバー

エンジンがかかりにくい時に使用します。
1．始動時，レバーを引く。（チョーク［**閉**］）
2．始動後，レバーを戻す。（チョーク［**開**］）

1AFAGAAAP026D

燃料キャップ

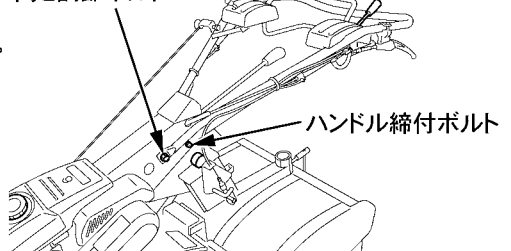
自動車用レギュラーガソリンを使用します。
［規定容量］ TG7000(3.1L)・TG9000(4.5L)

補足
＊給油口の赤色ゲージ以上に燃料を入れないでください。

1AFAGAAAP027B

ハンドル（高さ調節・締付）ボルト

注意

平たんな場所に機械を安定させて，エンジンを必ず停止して行なってください。傷害事故のおそれがあります。

ハンドル上下調節用のボルトです。
1．ハンドル締付ボルト（左右共）をゆるめてください。
2．高さ調整ボルト（左右共）を外してください。
3．３段階の高さ調節ができます。
　希望する高さに調節後は各ボルトを確実に締付けてください。

1AFAGAAAP034A

1AFAGAAAP036A

燃料コック（レバー）

重 要

＊コックレバーを開いた状態で，前に倒したり車両で運搬すると，エンジン始動が困難になる場合があります。

燃料タンクからエンジンへ燃料の［**供給**］・［**停止**］をします。エンジン停止後，必ず燃料コックレバーを閉めてください。
1．［OFF］（閉）・・・燃料停止。
2．［ON］　（開）・・・燃料供給。

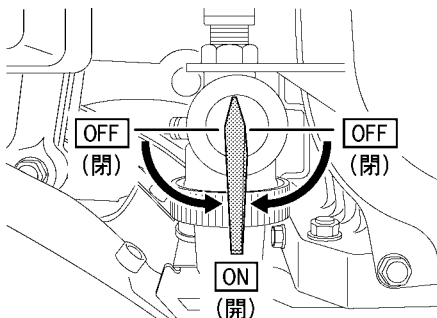
1AFAGAAAP039A

エアクリーナ

エンジンに正常な空気を供給するための装置です。

補 足

TG7000仕様はエアクリーナの吸込口が回動します。作業に応じ，チリやホコリの少ない方に吸込口の向きを変えてください。

【TG7000】　**【TG9000】**

1AFAGAAAP040A　1AFAGAAAP041A

マフラ

注 意

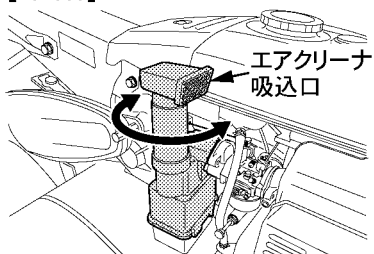
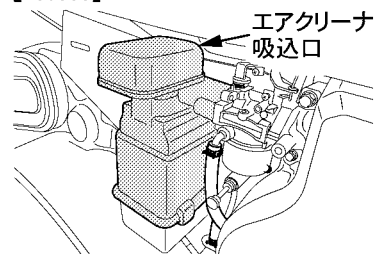
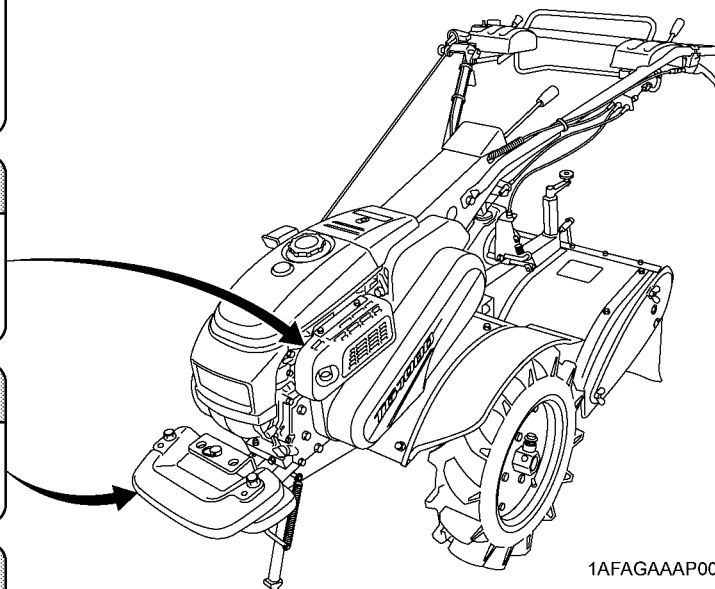
＊マフラに手でふれないでください。
ヤケドをするおそれがあります。

ウエイト

ウエイトは本機とロータリのバランスをとるのに使用します。標準装備仕様とウエイト装備無しの仕様があります。

1AFAGAAAP002A

六角ホイルチューブ

作業に応じて輪距の調節ができます。
（詳細は15ページの［輪距の調節・車輪交換のしかた］を参照）
・ハブ止めネジをゆるめ，車軸ピンを抜いて輪距の調節や交換を行うことができます。
（T・S仕様はハブ止めネジが付いていません）

1AFAGAAAP043B

1AFAGAAAP044A

スタンド

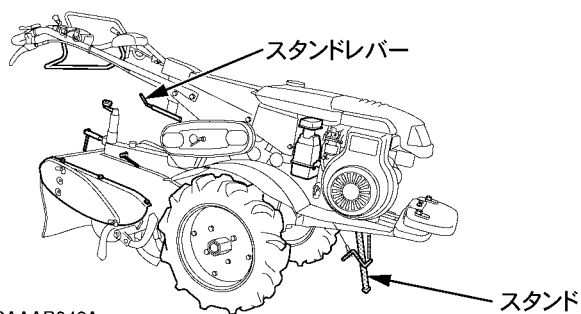
【TG7000】
必要に応じてスタンドを出し入れすることができます。

【TG9000】
TG9000仕様はスタンドレバーでスタンドを出し入れします。
・スタンドレバーを手前に引くとスタンドが引込みますので右に回しロックしてください。
・スタンドレバーを左に回しロックを解除するとスタンドが出ます。

1AFAGAAAP042A

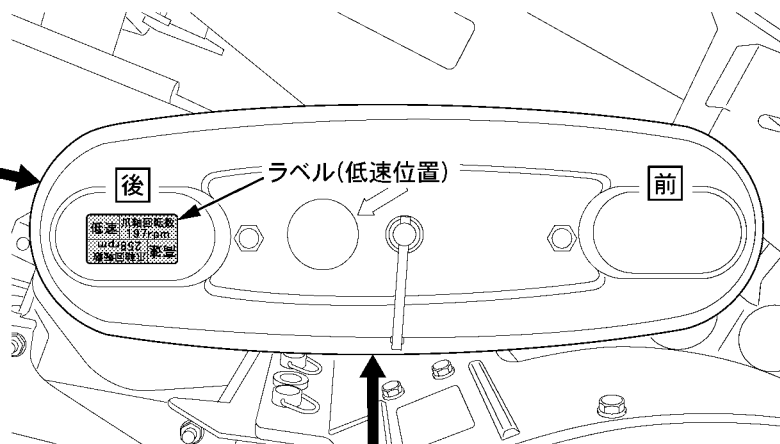
1AFAGAAAP046A

1AFAGAAAP042B

※このイラストはTG9000です。

1AFAGAAAP047A

1AFAGAAAP048A

副チェーンケース

【TG9000】
副チェーンケースのカバーを前後に入換えることにより，耕うん爪軸回転数を２段階に変更できます。
ラベルの文字が読めるように取付けてください。
・低速・・・爪軸回転数が遅くなります。(197rpm)
・高速・・・爪軸回転数が早くなります。(258rpm)

後輪上下ハンドル

耕深を微調整する時は後輪上下ハンドルを回して後輪の高さを調節します。
・右に回す・・・耕深が深くなります。
・左に回す・・・耕深が浅くなります。

後輪外管（ジャッキボルト）

耕深を大きく調整する時はジャッキボルトをゆるめ後輪外管を上下させて後輪の高さを調整します。

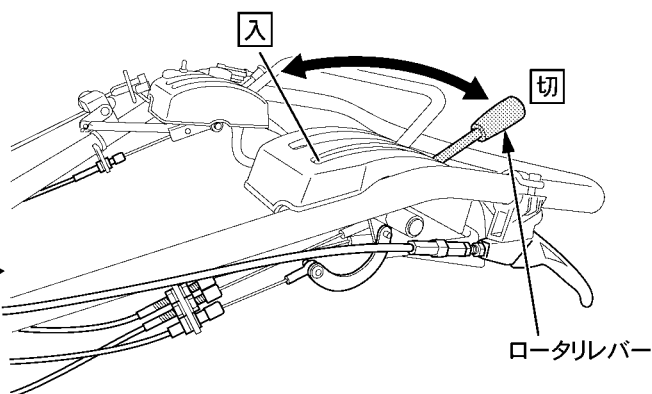
培土機取付け（ジャッキボルト）

【TG9000】
培土機を取付ける際は，ジャッキボルトで取付・取外しをしてください。

サイドカバー

使用するアタッチメントや作業により，サイドカバーを蝶ナットで上下に調節してください。
(16ページの[**サイドカバーの調節**]を参照)

ロータリレバー

【R・F仕様のみ】
ロータリレバーにより，ロータリ爪軸の回転･停止が行えます。
・ロータリレバーが[**入**]位置に入っている時は，けん制装置の作用により，主変速レバーは[**後進**]位置に入りません。
・主変速レバーが[**後進**]に入っている時もロータリレバーは[**入**]位置に入りません。

作業前の点検

警告

- ＊ **平坦な場所にスタンドを立て，機械を安定させて点検してください。**
- ＊ **点検中はエンジンを停止してください。**

調子よく作業するために

（詳細は 20 ページの **［テーラーの簡単な手入れと処置］** を参照）

- ＊ **給油するときはエンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。**
- ＊ **火気厳禁。くわえ煙草での給油は絶対にしないでください。**
- ＊ **燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。**
- ＊ **燃料は規定量（赤色ゲージ）以上入れないでください。**
- ＊ **給油後，燃料キャップはガソリンがもれないようしっかり締めてください。**
- ＊ **上記の作業をおこたると，爆発・火災のおそれがあります。**

◆ **燃料**

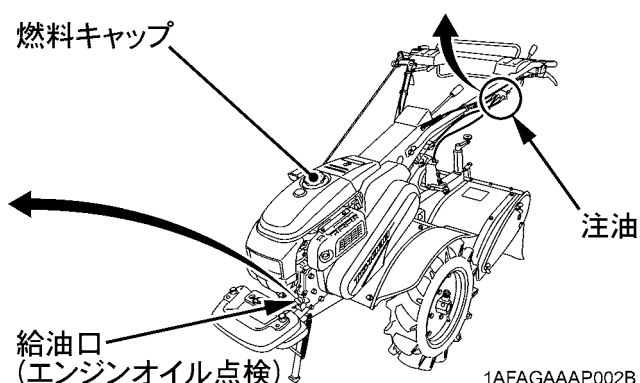
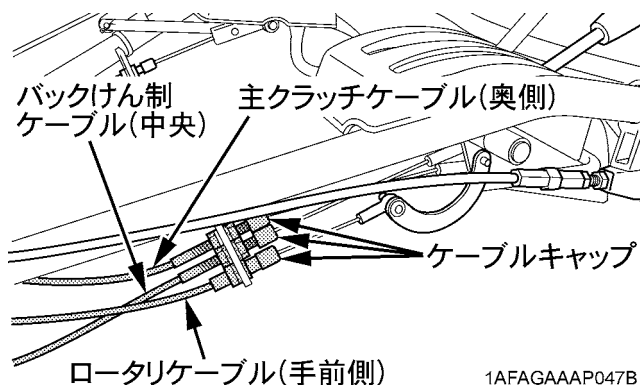
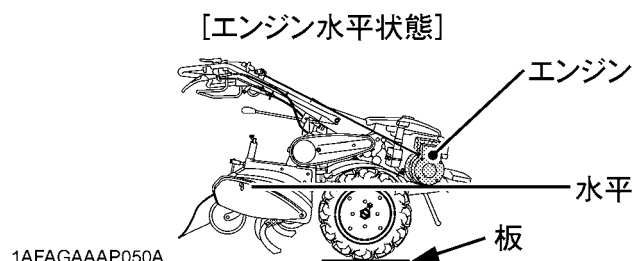
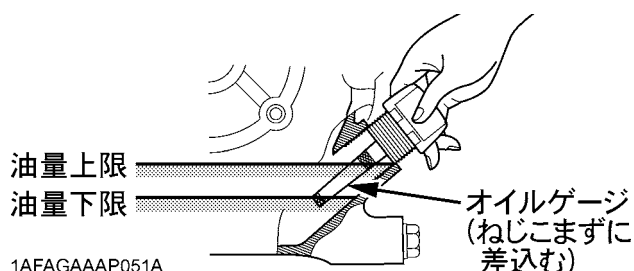
- ● 機体を水平にした状態で燃料を入れてください。
- ● 自動車用レギュラーガソリンを補給します。
- ● タンク容量……［TG7000］約3.1L・［TG9000］約4.5 L（赤色ゲージ以下にします。）

◆ **エンジンオイル**

- ● 平坦な場所で前輪を板などで浮かせエンジンを水平状態にして，オイルゲージで規定量あるか点検します。
- ● 不足している場合は，クボタ純オイルを補充します。
  （ガソリンエンジン用）
  スーパー G 10W-30

◆ **主クラッチケーブル［全仕様］**

◆ **バックけん制ケーブル・ロータリケーブル［R・F 仕様のみ］**

- ● ケーブルのキャップを外し，エンジンオイルを注油します。

◆ **ブレーキケーブル**
- ケーブルのキャップを外し，エンジンオイルを注油します。

◆ **操向クラッチケーブル（左・右）**
- 注油キャップを回し，注油口からエンジンオイルを注油します。

◆ **ミッションオイル**
- 機体を水平にした状態で検油プラグ位置まであるか点検してください。
- 不足している場合は，クボタ純オイル M80B,M90（NEW UDT 又はスーパーUDT-2 も使用可）を補充してください。

◆ **エアクリーナ**
- オイルパンの規定線（**OIL LEVEL**）まであるか点検してください。
- 不足している場合は，エンジンオイルを補充してください。
- オイルパンのオイルが汚れていないか点検してください。
- エアクリーナエレメントにゴミが付着していないか点検してください。

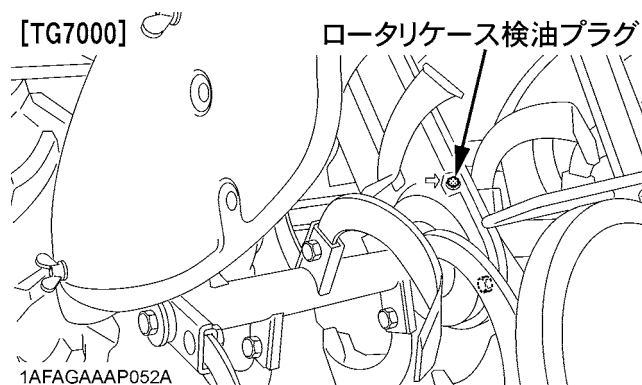
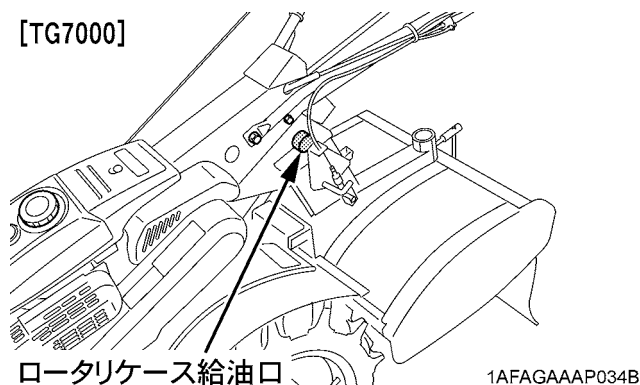
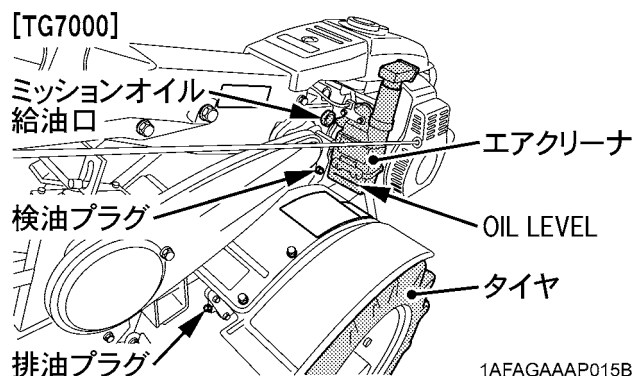
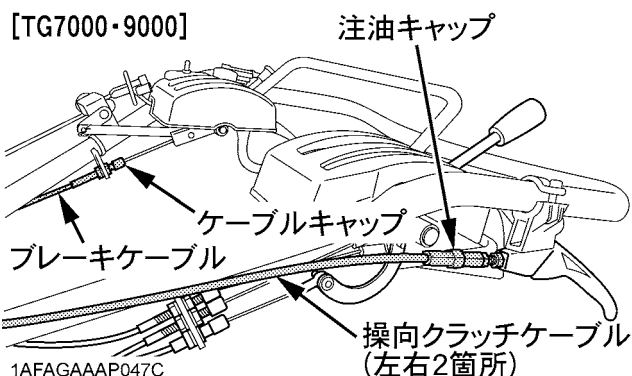
◆ **ロータリケースオイル**
- スタンドを立てた状態で検油プラグ位置まであるか点検してください。
- 不足している場合は，クボタ純オイル M80B,M90（NEW UDT 又はスーパーUDT-2 も使用可）を補充してください。

重　要

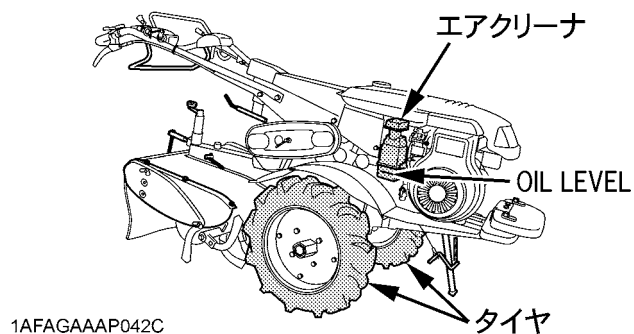
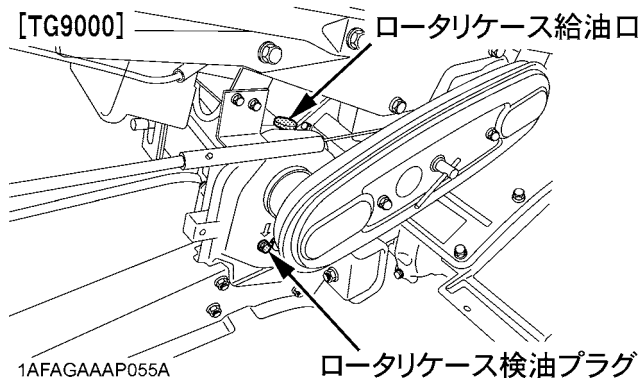
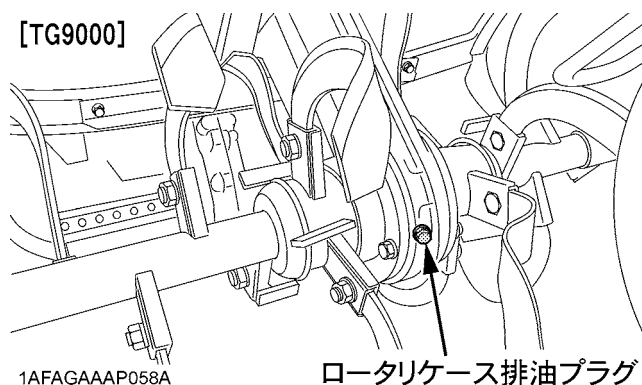
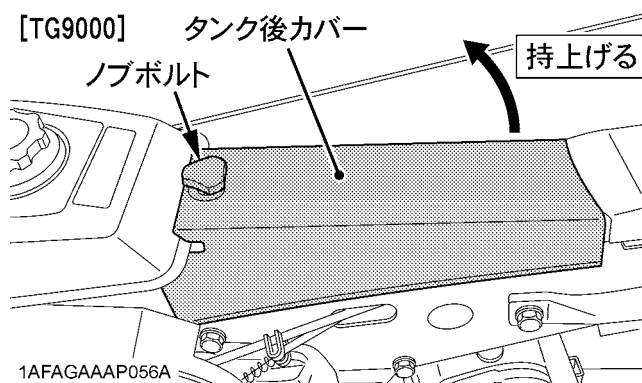
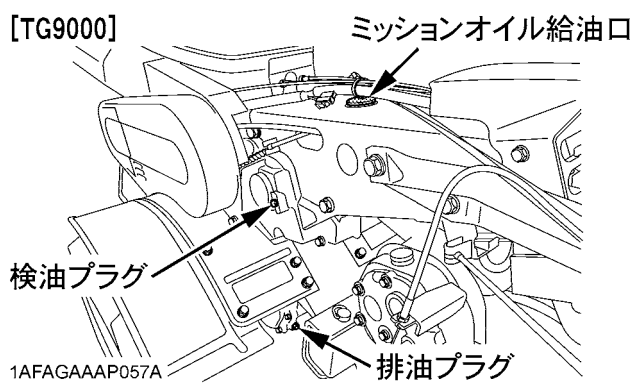
＊ 燃料・オイルには水やゴミを混入しないようにしてください。

◆ **タイヤ**
- 空気が抜けていないか，また損傷がないか点検してください。

◆ **ロータリ（R・F 仕様）**
- 耕うん爪取付ボルトのゆるみがないか点検してください。

◆ **その他**
- エンジン，ミッションなどから油もれがないか点検してください。
- 各しゅう動部へエンジンオイルを注油してください。
- 各部の損傷及びボルト・ナットのゆるみがないか点検してください。

補　足

＊ TG9000 のミッションオイル・エアクリーナ・ロータリケースオイル・タイヤ点検の図は次項を参照してください。

補　足

＊ ミッションオイル給油口はタンク後カバーの中にあります。タンク後カバーは固定ノブボルトを外し，カバーに手をかけて持ち上げると外れます。

安全に作業するために

警　告

* **タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引き起こす原因になります。**
* **タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。**
* **タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）**

◆ **主クラッチレバー**
- クラッチの【**入**】・【**切**】が確実に行なえるか点検してください。

補助主クラッチレバー
- 補助主クラッチレバーの【**切**】が確実に行なえるか点検してください。

操向クラッチレバー
- 操向クラッチの左右の【**入**】・【**切**】が確実に行なえるか点検してください。

ロータリレバー（R・F 仕様のみ）
- ロータリレバーの【**入**】・【**切**】が確実に行なえるか点検してください。

駐車ブレーキレバー
- 駐車ブレーキ【**入**】で確実に停止するか点検してください。

◆ **主変速レバー**
- 変速が案内板の表示位置で確実に行なえるか点検してください。

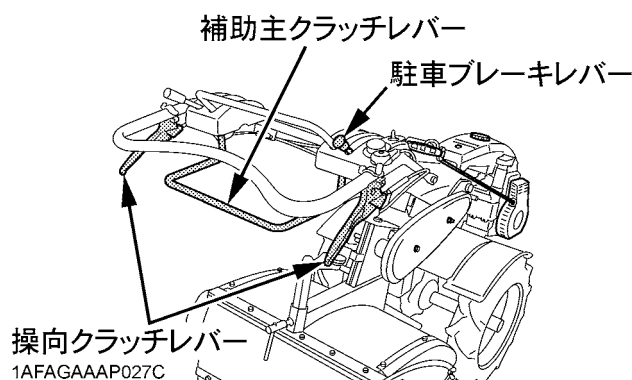
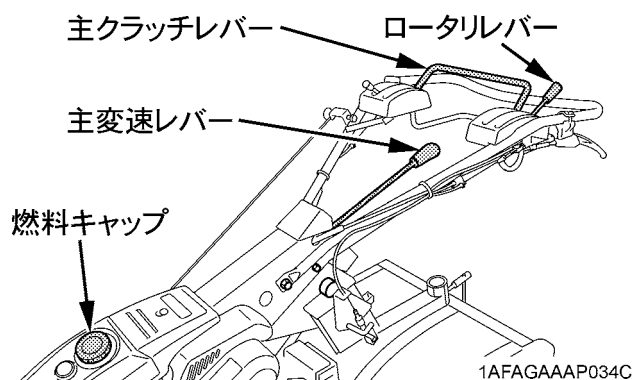
◆ **電気配線**
- 被覆が溶けたり被れていないか，また配線がはさまれていないか点検してください。

◆ **エンジン周辺部**
- ファンカバーやマフラカバー内にゴミやワラクズの付着がないか点検してください。

◆ **燃料（ガソリンもれ）**
- タンクや燃料パイプからガソリンもれがないか点検してください。もれがある場合は，修理点検してください。
- 自動車用レギュラガソリンを補給してください。
- タンク容量……規定量（赤ゲージ位置）以上入れないようにしてください。
- 給油後，ガソリンがもれないよう確実に燃料キャップを締めてください。

◆ **タイヤ空気圧**
- 空気が抜けていないか，また，損傷がないか点検してください。
- 適正空気圧………………　120kPa(1.2kgf/cm²)

◆ **バッテリ［E 仕様のみ］**
- ターミナル端子がゆるんでいないか点検してください。

（詳細は 32 ページの【**バッテリの点検**】を参照）

運転のしかた

新車時の扱いかた

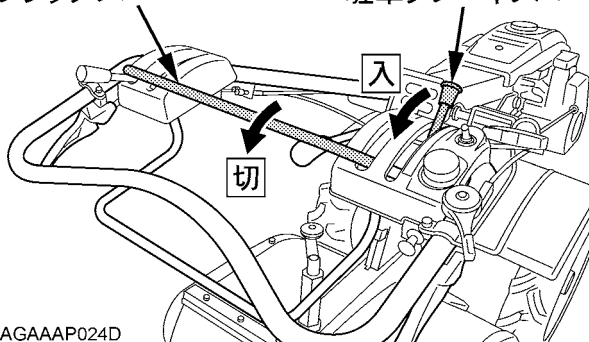
■ならし運転（最初の 10 時間まで）

この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用はさけ無理をさせないようにしてください。

エンジンの始動と停止のしかた

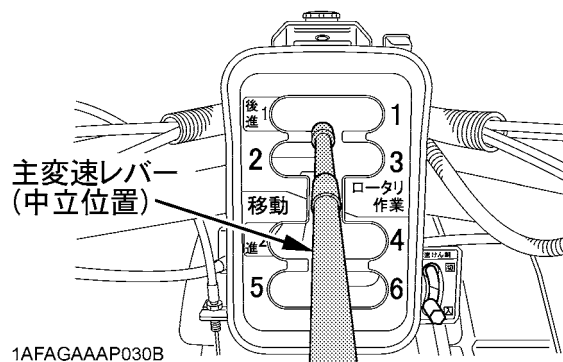
＊ マフラの排気出口方向に，燃えやすい物を置かないでください。火災が発生する原因となります。
＊ リコイルスタータを引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。
＊ エンジンの運転中は，危険ですから操作レバー以外の物（マフラなど）には，触れないでください。ヤケドや傷害のおそれがあります。
＊ 夜間作業はしないでください。
＊ エンジンを始動するときは，主クラッチレバーを必ず［切］にしてください。
＊ 主変速レバーを［中立］にしてください。

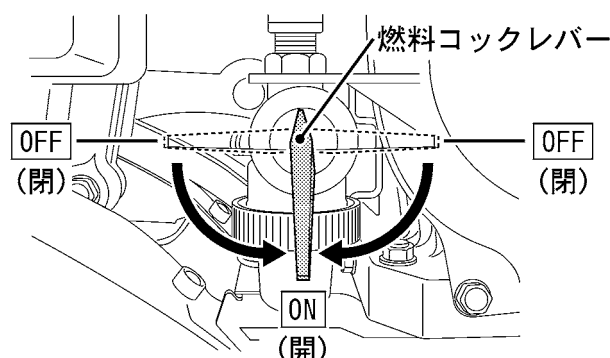
■リコイル始動のしかた

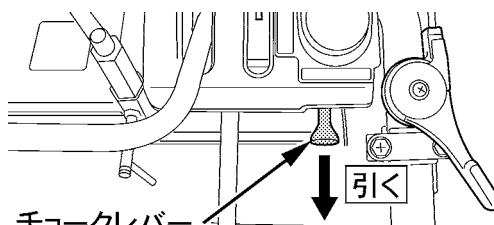
1. 主クラッチレバーを **［切］** の位置にし，駐車ブレーキレバーを **［入］** の位置にします。

1AFAGAAAP024D

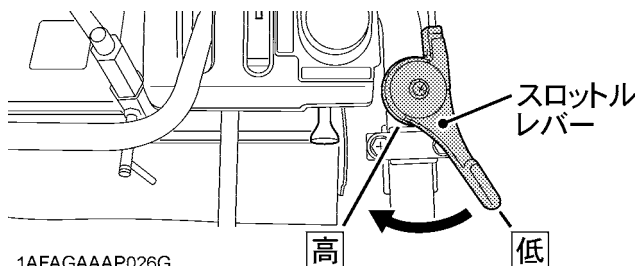
補　足

＊ 主クラッチレバーが **［入］** では始動けん制装置が作動してエンジンは始動しません。

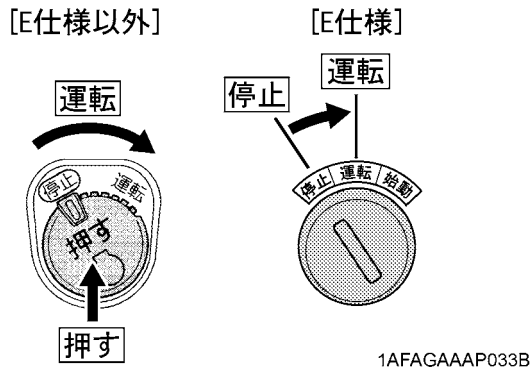
2. 主変速レバーを **［中立］** 位置にします。

1AFAGAAAP030B

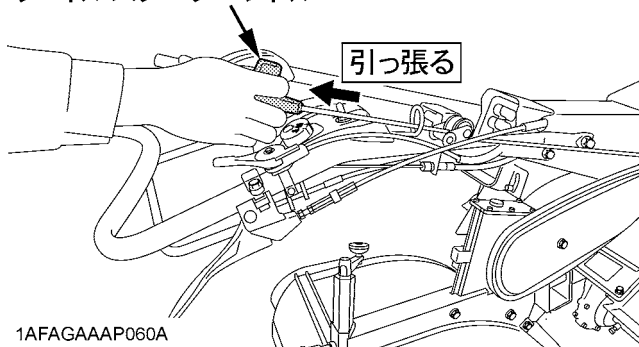
3. 燃料コックレバーを **［ON］（開）** にします。

1AFAGAAAP039D

4. チョークレバーを引き **［閉］** 位置にします。

1AFAGAAAP026F

5. スロットルレバーを **［高］** にします。

1AFAGAAAP026G

6. メインスイッチを押しながら［運転］位置まで回します。E 仕様は［運転］位置にします。

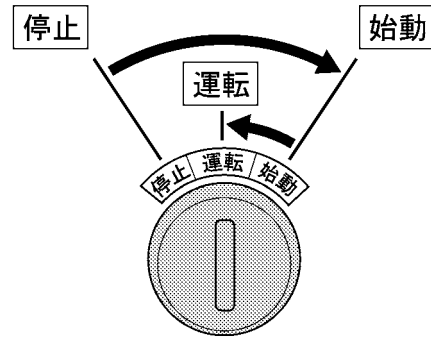
1AFAGAAAP033B

7. リコイルスタータハンドルを握って，引っ張ります。
   エンジンが始動したら，リコイルスタータハンドルを静かに元に戻してください。

1AFAGAAAP060A

8. エンジンの運転状態を確認しながら，チョークレバーを徐々に［開］の位置に戻します。
9. ２～３分暖気運転をしてから，作業を始めてください。

重　要

＊ 運転中はリコイルスタータを引かないでください。
＊ 主クラッチレバーが［入］の状態でリコイルスタータハンドルを引くと，主クラッチレバーが［切］位置に戻ります。

■セルスタータ始動のしかた［E 仕様］

1. ～ 5. はリコイル始動と同じ手順で行なってください。
6. メインスイッチを［始動］位置まで回し，エンジンを始動します。
7. エンジンが始動したところで，メインスイッチから手を離してください。
   メインスイッチは自動的に［運転］位置に戻ります。

1AFAGAAAP033C

8. エンジンの運転状態を見ながら、チョークレバーを徐々に［開］の位置に戻します。
9. ２～３分暖機運転をしてから，作業を始めてください。

重　要

＊ 10秒間セルモータを回しても始動しない場合は，30 秒休んでから再始動してください。
＊ エンジン始動後，メインスイッチは必ず［運転］の位置に戻してください。

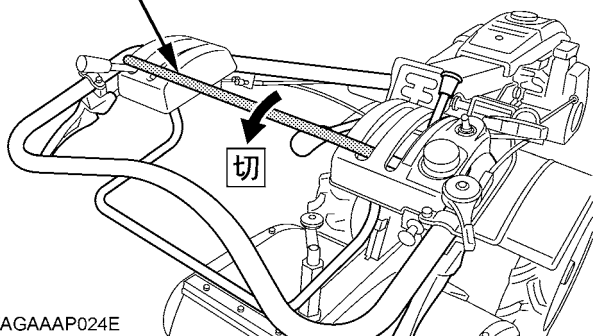
補　足

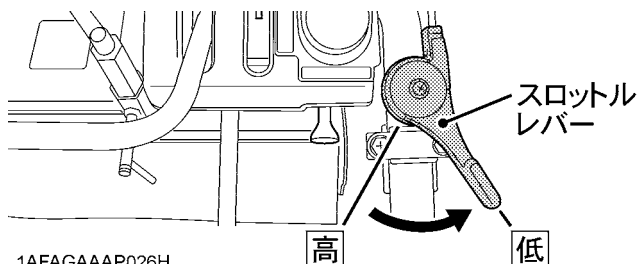
＊ 主クラッチレバーが［入］の状態でエンジンを始動することはできません。
＊ バッテリが完全に放電し，セルスタータで始動不能になった場合は，メインスイッチを［運転］の位置にし，リコイルスタータで始動してください。

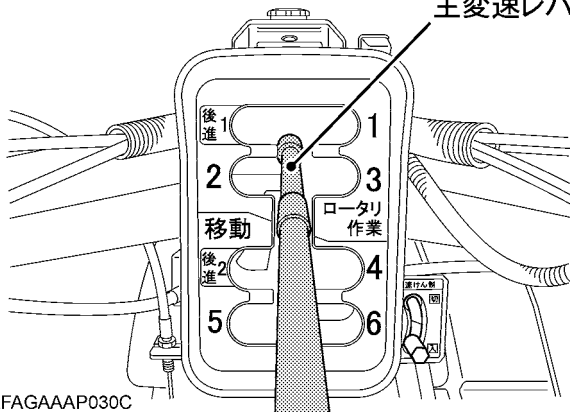
■停止のしかた

⚠ 警告

＊ 停止直後はしばらくマフラが熱くなっています。手を触れないでください。ヤケドのおそれがあります。

1. 主クラッチレバーを **［切］** にします。

1AFAGAAAP024E

2. スロットルレバーを **［低］** 位置にします。

1AFAGAAAP026H

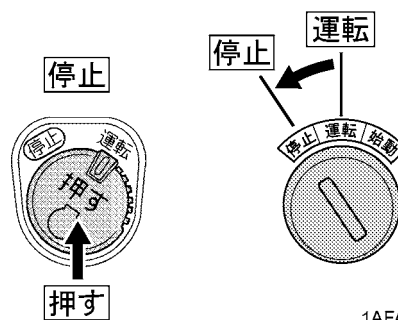
3. 主変速レバーを **［中立］** 位置にします。

1AFAGAAAP030C

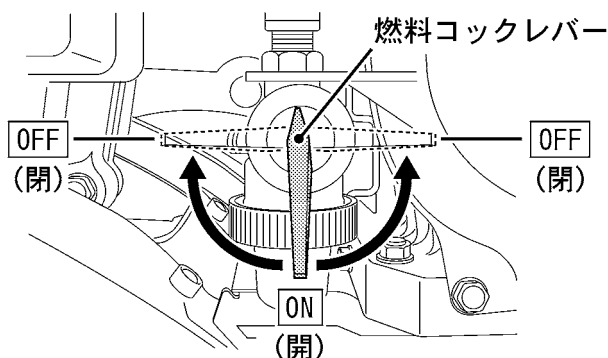
4. メインスイッチを **［停止］** にすると，エンジンが停止します。

［E 仕様以外］

・メインスイッチを押すと，左に回って **［停止］** 位置に戻り，エンジンが停止します。

［E 仕様］

・メインスイッチを **［停止］** 位置にするとエンジンが停止します。

1AFAGAAAP033D

5. 燃料コックレバーを **［OFF］（閉）** にします。

1AFAGAAAP039C

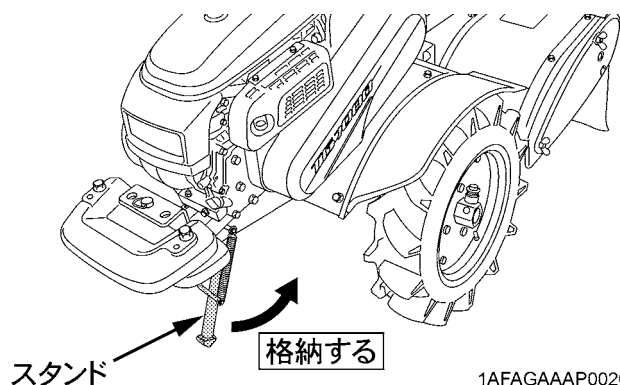
重　要

＊ コックレバーを開いたままの状態で保管したり，車両で運搬したりすると，エンジン始動が困難となる場合があります。
　また，クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

発進のしかた

警 告

＊ 運転中は周囲に人を近づけないでください。傷害事故のおそれがあります。
＊ 傾斜地での運転や後進するときなどは，ハンドルが持上がり，体や首をはさまれるなどのおそれがありますので，主クラッチをゆっくり操作してください。
＊ 狭い場所での運転や後進の運転については，エンジンの回転を低速にし，後方や上方など周りの安全を確かめゆっくりと主クラッチ操作をしてください。
＊ 高速けん制が確実に作動するか確認してください。
＊ 高速けん制している変速位置には，無理にレバー操作をしないでください。
＊ ロータ装着時は後進禁止です。

1. スタンドを格納します。(TG9000 はスタンドレバーを引き，スタンドを格納します。)

1. 主クラッチレバーが **【切】** の位置にあることを確認した後，変速レバーを必要な変速位置にします。
2. 主クラッチレバーを **【入】** にして発進します。
3. スロットルレバーを操作して速度を調整します。

作業のしかた

上手な作業のしかた

下記操作手順を守り安全作業を心掛けてください。

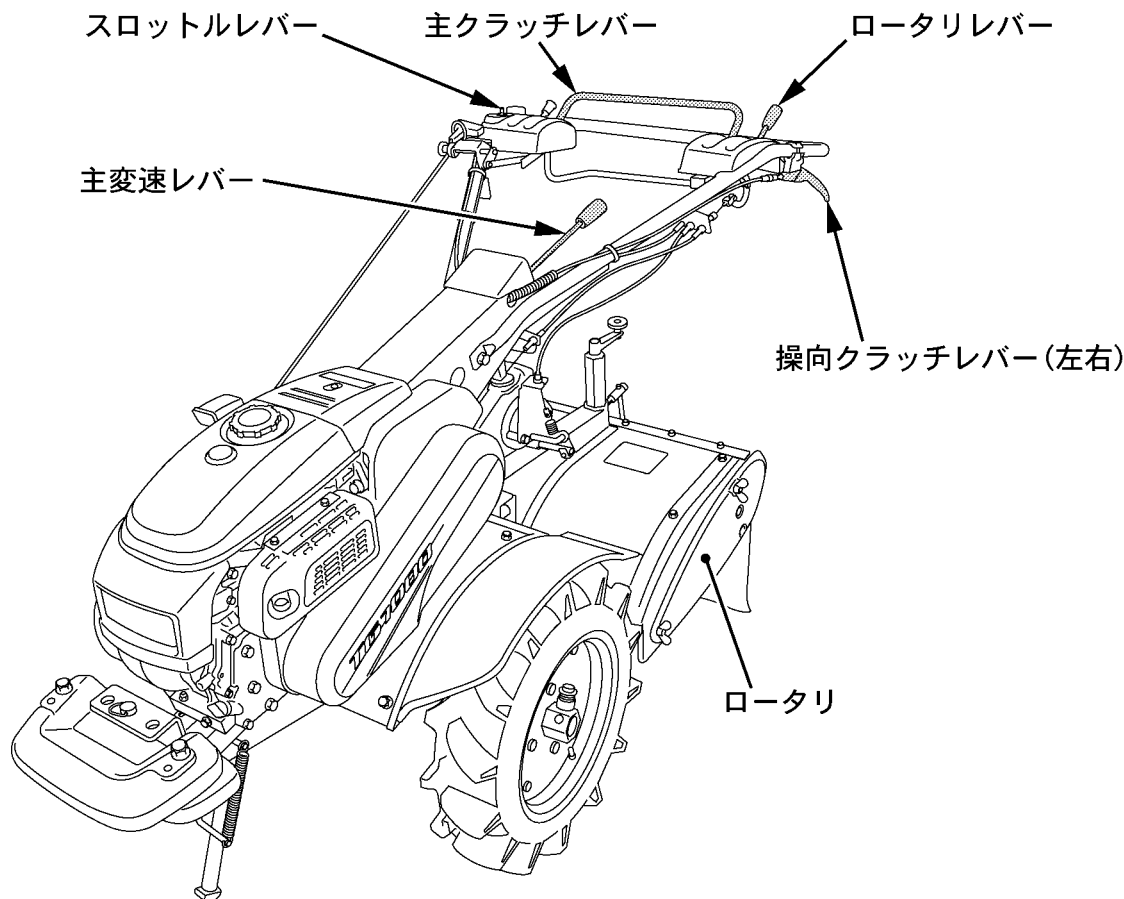
■作業前の準備

※各部の調節要領および作業ごとの設定要領を参照して，作業目的に合わせた設定を行なってください。

■耕うん作業手順［R・F 仕様］

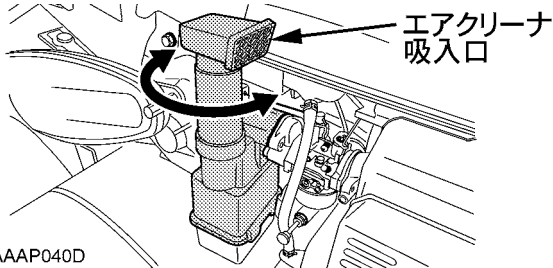
1. 主クラッチレバーを **［切］** 位置にします。
2. 主変速レバーを作業に応じた位置に入れます。
3. スロットルレバーでエンジン回転を調整します。
4. 主クラッチレバーを **［入］**・ロータリレバーを **［入］** 位置にし，発進します。
5. スロットルレバーを操作し，速度やロータリ回転数を調節します。
6. 変速するときは必ず主クラッチレバーを **［切］** 位置にしてから行なってください。

■旋回手順［全仕様］

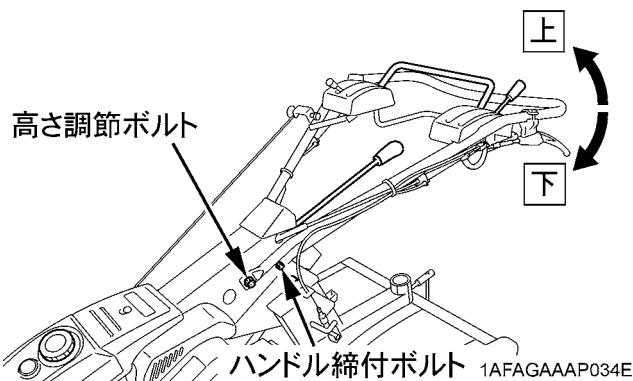
1. スロットルレバーを低速にします。
2. **（R・F 仕様のみ）** ロータリレバーを **［切］** 位置にします。
3. ハンドルを持ち上げ、操向クラッチレバーの **［左右］** の曲がりたい方向を握り旋回します。
4. 旋回後，操向クラッチレバーを離し，ハンドルを押し下げます。**（R・F 仕様は）** ロータリレバーを **［入］** 位置にして作業を行ないます。
5. 旋回後 **（R・F 仕様は）［耕うん作業手順］** の手順で耕うん作業を行ないます。

各部の調節

■エアクリーナの調節

［TG7000 のみ］

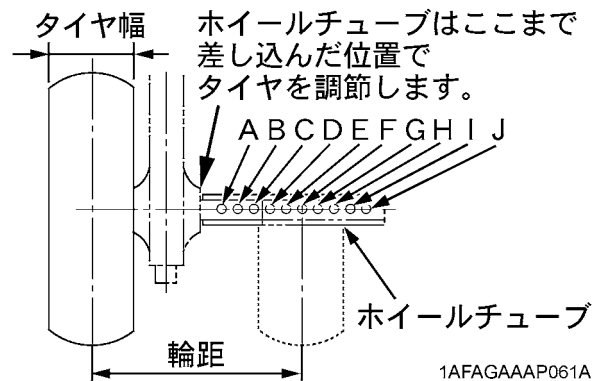
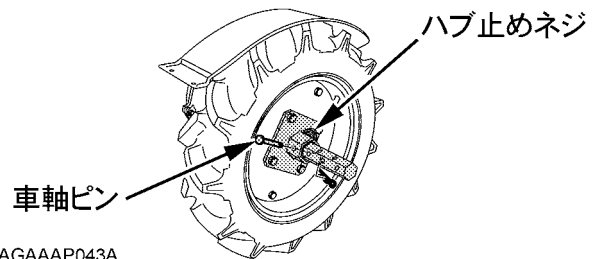
エアクリーナの吸込口が回動します。作業に応じ，チリやホコリの少ない方に吸込口の向きを変えてください。

■ハンドル高さの調節

＊ 平坦な場所に機械を安定させて，エンジンを必ず停止して行なってください。傷害事故のおそれがあります。

1. ハンドル締付ボルト（左右共）をゆるめてください。
2. 高さ調節ボルト（左右共）を外してください。
3. ３段階の高さが調節できます。希望する高さに調節後は各ボルトを確実に締付けて下さい。

■輪距の調節・車輪交換のしかた

＊ 輪距の調節時は，固い地面の平坦で安定した場所に停止してください。

＊ 必ずエンジンを停止して，駐車ブレーキをかけて作業してください。傷害事故のおそれがあります。

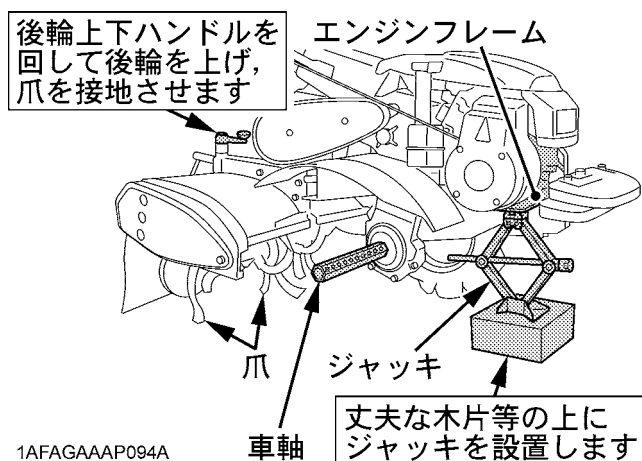
作業条件に応じて，輪距調節と車輪交換は次のとおり行ないます。ハブ止めネジをゆるめ，車軸ピンを抜いて調節や交換を行なってください。（T・S 仕様はハブ止めネジが付いていません。）

型式名	TG7000			TG9000
タイヤサイズ	4.00-9	4.00-10	4.00-12	5.00-12
ピン位置	輪距［mm］			
A	－	－	－	－
B	－	－	－	－
C	－	－	－	－
D	310	310	※(315)	－
E	360	360	※(365)	370
F	410	410	※(415)	420
G	460	460	465	470
H	510	510	515	420
I	560	560	565	570
J	610	610	615	620
タイヤ幅	114	111	122	130

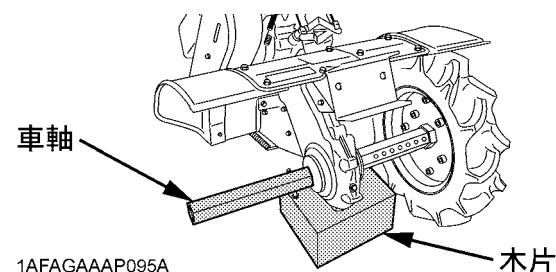
※印部で使用する時は，外側のフェンダを必ず外してください。

1AFAGAAAP089A

◆ **調節時の注意**

[R・F 仕様]

1. 爪を接地させてください。
2. ジャッキを設置し，調節する側のエンジンフレームをタイヤが動く高さまで持ち上げてください。
3. 機体の安定を確認してから調節してください。

[R・F 仕様以外]

1. ウエイトまたは，フロントヒッチを地面に接地させてください。
2. 固い丈夫な木片を設置し、機体を安定させてから調節してください。

ロータリ関係 [R・F 仕様のみ]

■後輪の調節（耕深調節・移動）

警 告

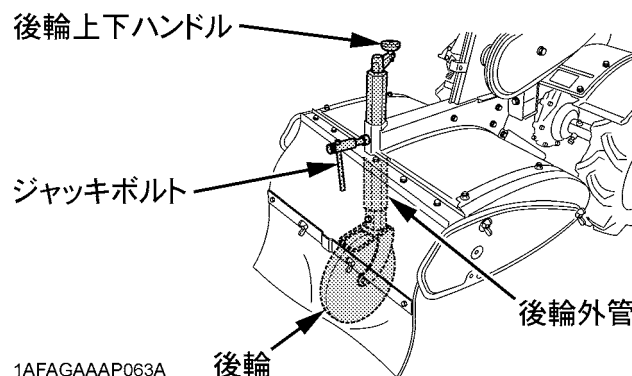
＊ 調節時は必ずエンジンを停止してください。傷害事故を引き起こすおそれがあります。

＊ 耕深を深くしすぎると，思わぬ方向に機体が飛び出し傷害事故につながるおそれがあります。浅めの耕深から徐々に調節してください。

後輪の高さを調節することで耕深調節ができます。移動に使用する際は、爪が地面に接地しない高さまで後輪を下げます。

1. 耕深を大きく調節する時はジャッキボルトをゆるめ後輪外管を上下させて後輪の高さを調節します。
2. 耕深を微調節する時は後輪上下ハンドルを回して後輪の高さを調節します。

● 右に回す…耕深が深くなります。
● 左に回す…耕深が浅くなります。

重 要

＊ 調節後はジャッキボルトを確実に締付てください。

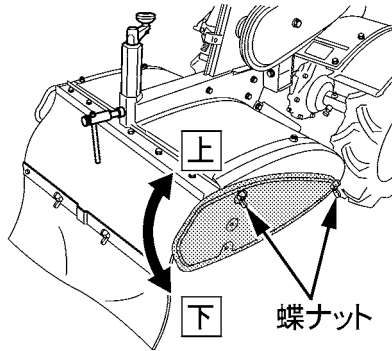
■サイドカバーの調節

警 告

＊ 調節時は必ずエンジンを停止してください。傷害事故を引き起こす恐れがあります。

＊ 巻き込まれによる傷害事故防止のため，運転時はサイドカバーを必ず装着してください。

使用するアタッチメントや作業により，サイドカバーを蝶ナットで上下に調節してください。

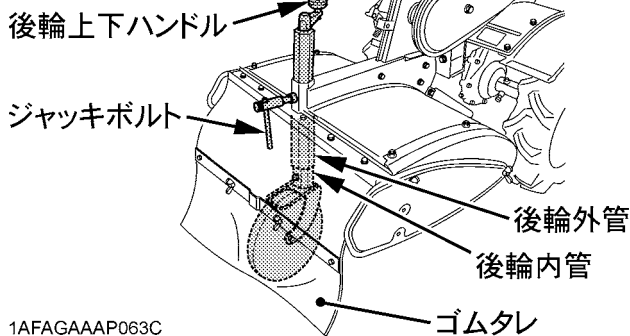
＊ カバー位置による作業の目安
● 上げる…荒起こし
● 下げる…通常耕運・代かき

1AFAGAAAP063B

■培土機の取付けかた

＊ **培土機の取付け時は，エンジンを停止してください。傷害事故のおそれがあります。**

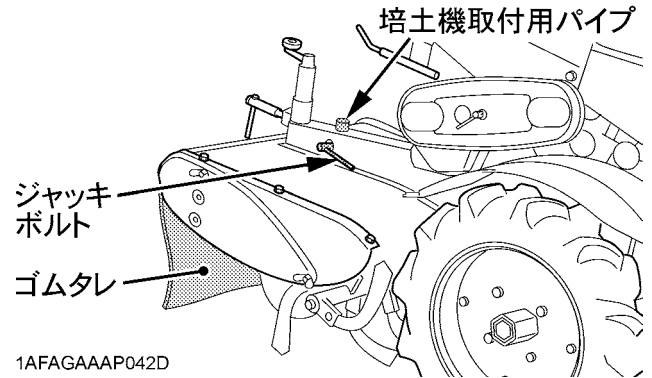
[TG7000]

1. 機体のエンジン側を接地させます。
2. 後輪上下ハンドルを左側に回し後輪内管を下側に外し，ジャッキボルトをゆるめて後輪外管を上側に外してください。

[図1]

1AFAGAAAP063C

3. 取付けはゴムタレをあげて培土機を挿入し，ジャッキボルトでセットします。
   詳細は培土機の取扱説明書を参照してください。

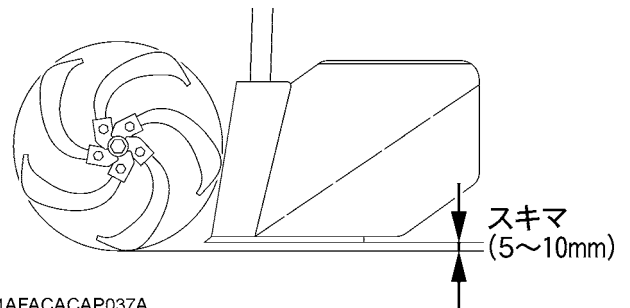
[TG9000]

1. 機体のエンジン側を接地させます。
2. 取付けはゴムタレをあげて培土機取付用パイプのキャップを外し培土機を挿入して，ジャッキボルトでセットします。
   詳細は培土機の取扱説明書を参照してください。

1AFAGAAAP042D

重　要

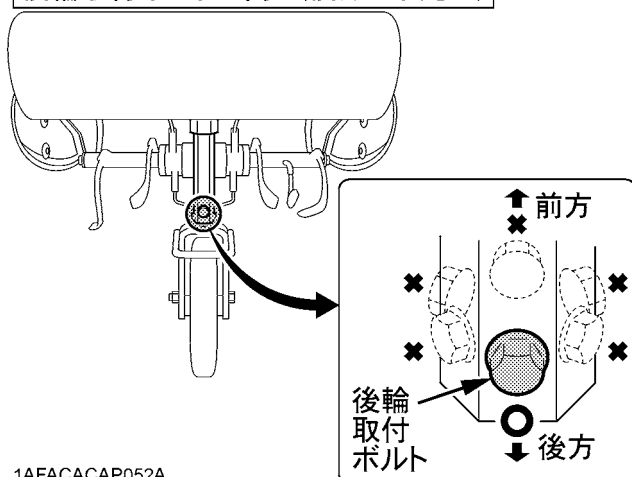
＊ 調節後は，ジャッキボルトを確実に締付けて固定してください。
＊ うね立て作業時以外は，ゴムタレを下げて作業を行ってください。

補　足

＊ ロータリ爪と培土機の隙間を５～10㎜に調節してください。

1AFACACAP037A

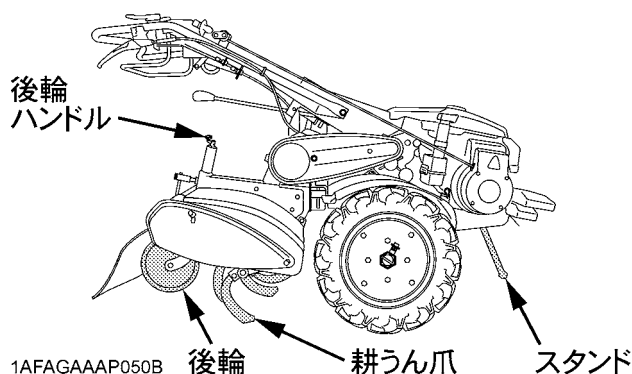
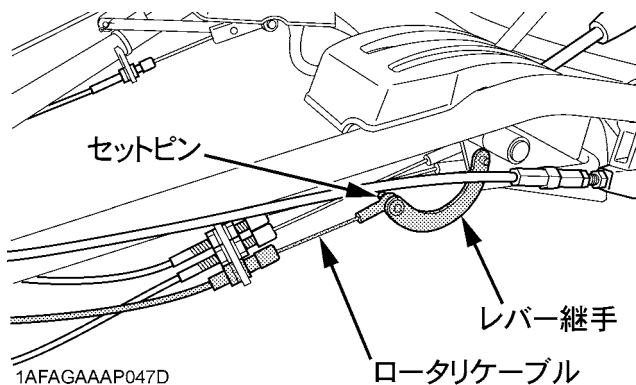
＊ 培土機には角度調節用ノブボルトがついていますので，培土機の先端を少し下げ気味に調節してください。

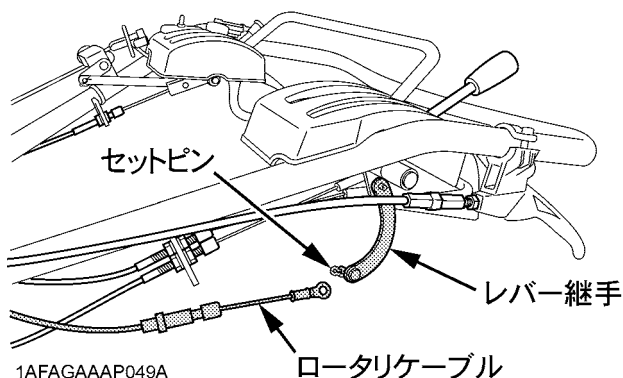
重　要

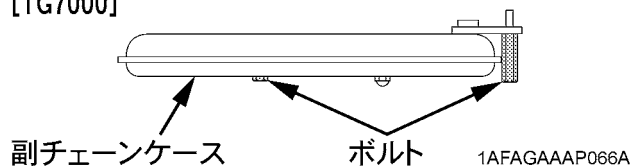
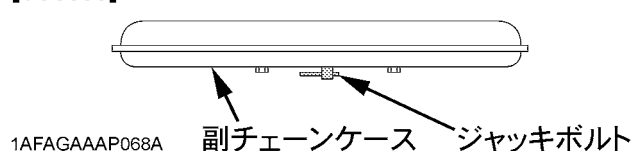
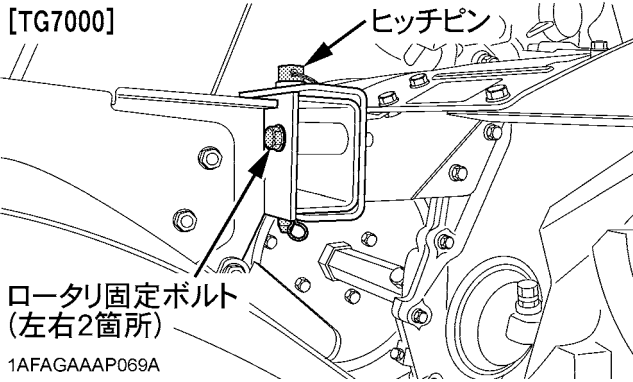
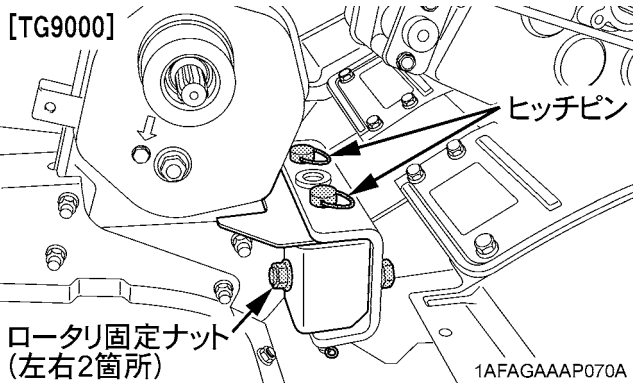
＊ 再度後輪を取付ける際は，必ず図のように後輪取付ボルトをロータリ後方の中心に取付けてください。ロータリ後方の中心以外の角度で取付けますと，後輪と耕うん爪が当たるなど機械の損傷のおそれがあります。

■ロータリの着脱のしかた

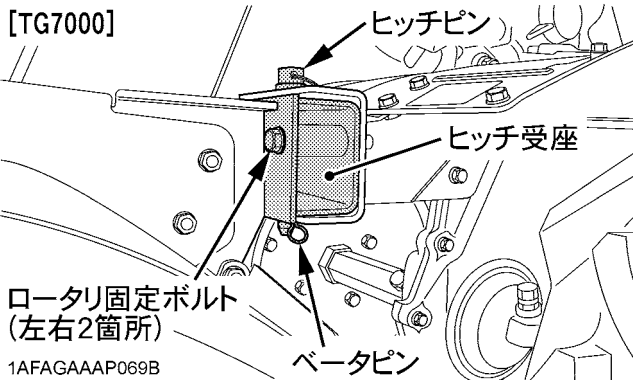
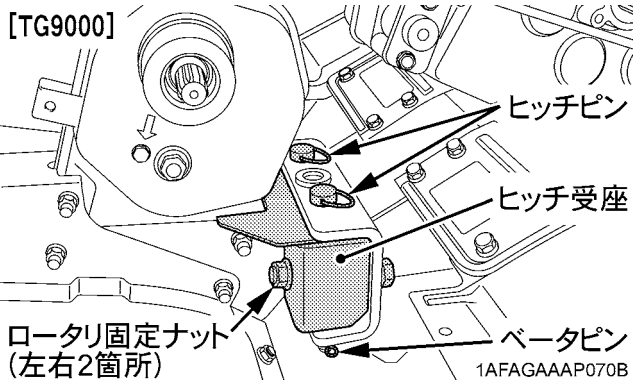
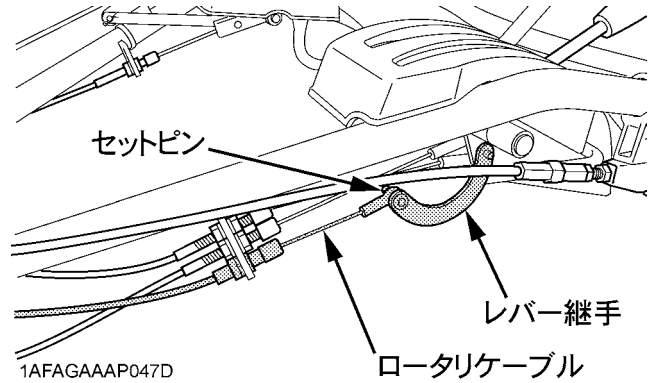
＊ ロータリの取外し・取付けをするときは，本機を平坦な広い場所に置き，必ずエンジンを停止して作業してください。

◆ ロータリの外しかた

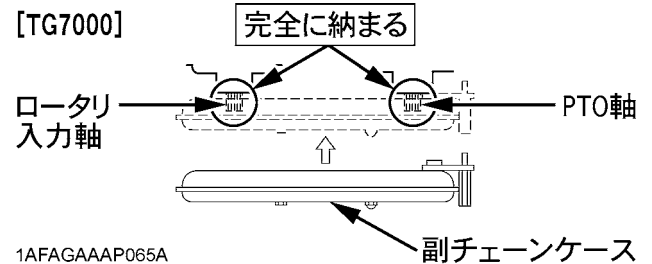
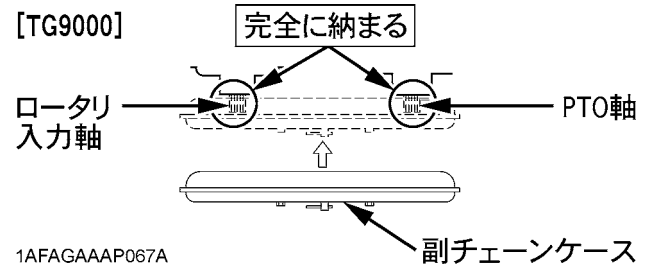
1. スタンドを立て機体を安定させせます。
2. 耕うん爪を地面に接地させたとき，後輪が 5 ～ 8cm 地面から浮くように後輪ハンドルで調節します。

3. レバー継手のセットピンを抜きロータリケーブルを取外します。

重 要

＊ 外したセットピンはレバー継手側に紛失しないように取付けておいてください。

4. 副チェーンケースを外します。
   - TG7000 はボルト２箇所を外すと副チェーンケースが外れます。
   - TG9000 はジャッキボルトを外すと副チェーンケースが外れます。

[TG7000]

[TG9000]

5. ロータリを外します。
   - TG7000はロータリ固定ボルトを外し，ヒッチピンを抜き，機体を前方に押すとロータリを取り外すことができます。
   - TG9000はロータリ固定ナットをゆるめて，ヒッチピンを抜き ， 機体を前方に押すとロータリを取り外すことができます。

◆ ロータリの取付けかた

1. 後輪ハンドルでロータリの後輪高さを調節し、ヒッチ受座をなるべく水平にして本機のヒッチと合わせます。
2. 機体を前方に倒しヒッチピンを差込みベータピンで固定します。

3. ロータリケーブルを，レバー継手にセットピンで取付けます。

重　要

＊ 取付け後はロータリレバーが **[切]・[入]** に確実に入るか確認してください。

4. 副チェーンケースを取付けます。
   - 本機PTO軸とロータリ入力軸に副チェーンケースが完全に納まるように取付けてください。

5. ヒッチを固定してください。
   - TG7000 はロータリ固定ボルトを確実に締付けてください。
   - TG9000 はロータリ固定ナットを確実に締付けてください。

テーラーの簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について

警　告

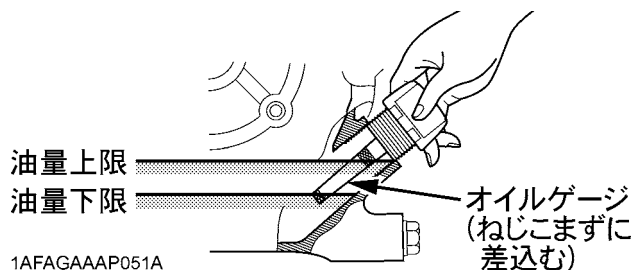
廃棄物をみだりに捨てたり，焼却しないでください。環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
廃棄物を処理するときは
- **＊ 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。**
- **＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。**
- **＊ 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者などに相談して，所定の規則に従って処理してください。**

日常の手入れ

- **＊ 給排油・点検・調節・清掃は，エンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。**
- **＊ 平坦な場所に機械を安定させて行なってください。**

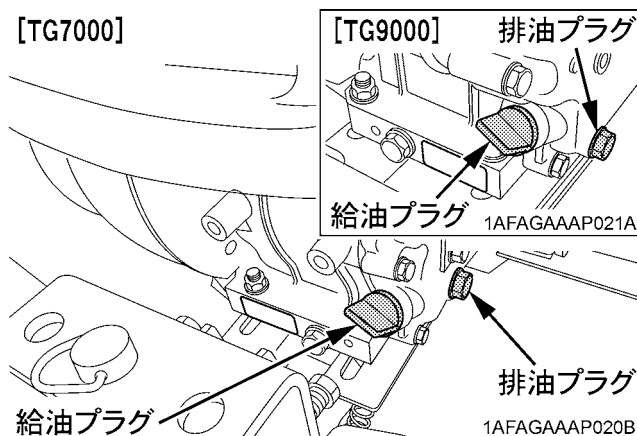
■エンジンオイルの交換

◆ 給油のしかた

エンジンを水平にして，オイルゲージを用いて，規定量まで入れます。

◆ 排油のしかた

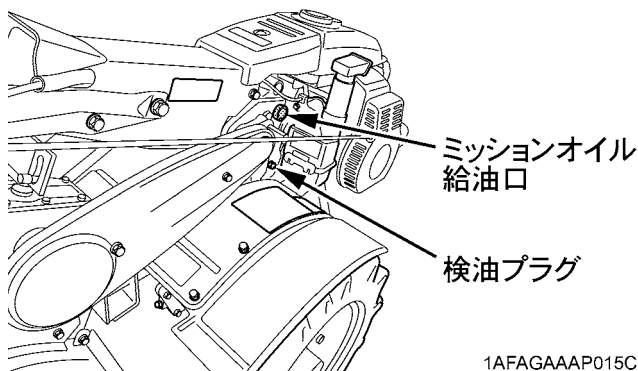
機体を水平に安定させ排油プラグを外し，排油します。

重　要

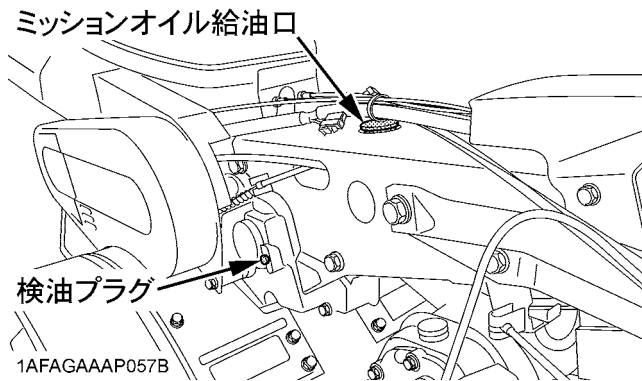
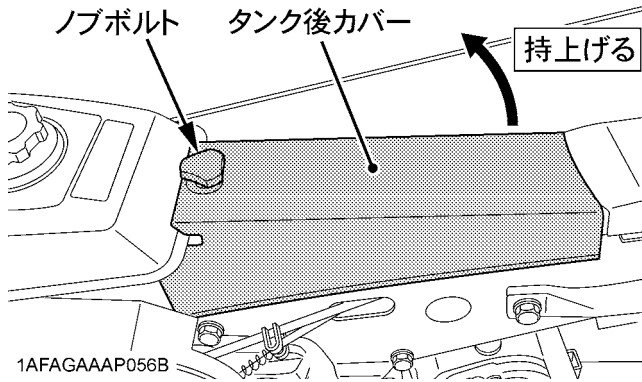
- ＊ 粗悪なオイルを使用しますと，エンジンの寿命を急激に縮めますので，購入先でクボタ純オイルスーパーＧ　10W-30 とご指定の上，お求めください。（**オイルの点検と交換表**を参照）
- ＊ 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。

■ミッションオイルの交換

◆ 給油のしかた

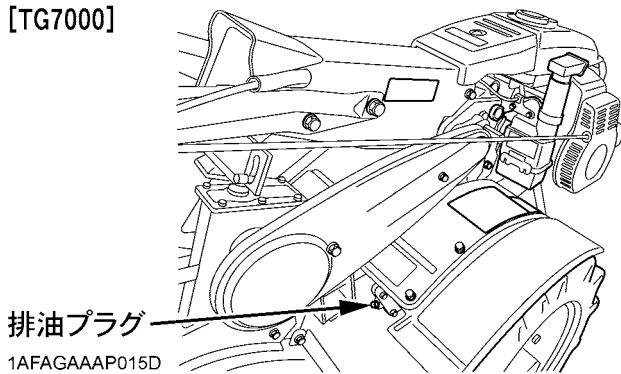
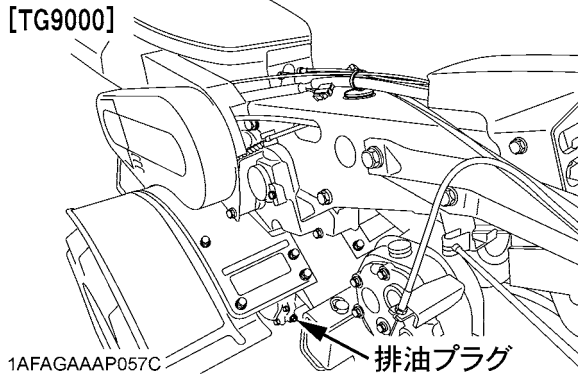
機体を水平にし，検油プラグまで給油します。

[TG7000]

[TG9000]

補　足

- ＊ ミッションオイル給油口はタンク後カバーの中にあります。タンク後カバーは固定ノブを外し，カバーに手を掛けて持上げると外れます。

◆ **排油のしかた**

ミッションオイル排油プラグを外して排油します。

[TG7000]

[TG9000]

重　要

＊ 粗悪なオイルを使用しますと，機械の寿命を急激に縮めますので，購入先でクボタ純オイル M80B,M90(NEW UDT 又はスーパーUDT-2 も使用可）とご指定の上，お求めください。(**オイルの点検と交換表**を参照)

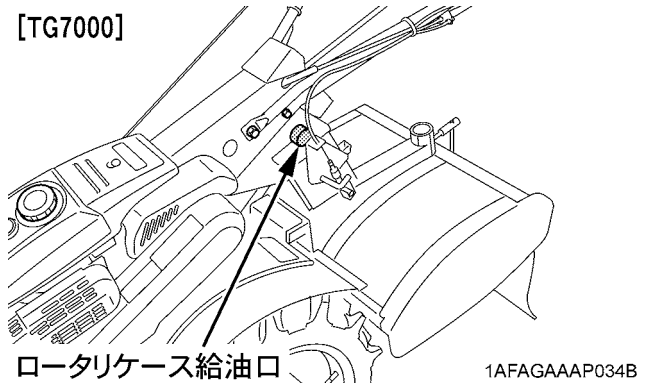
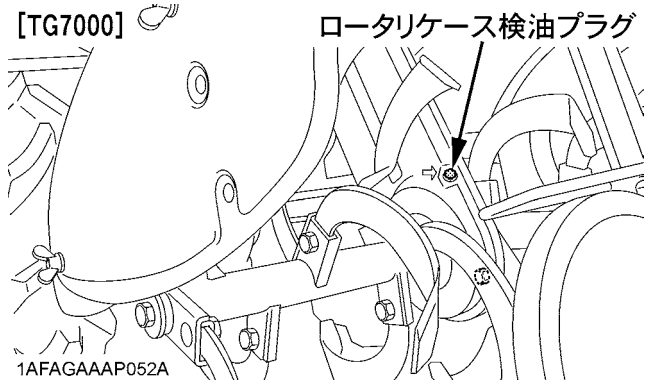
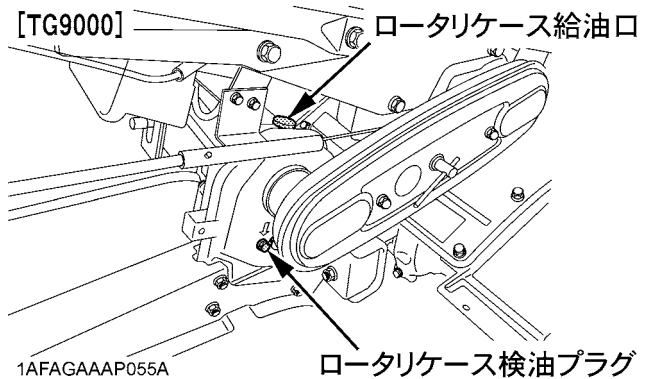
＊ 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。

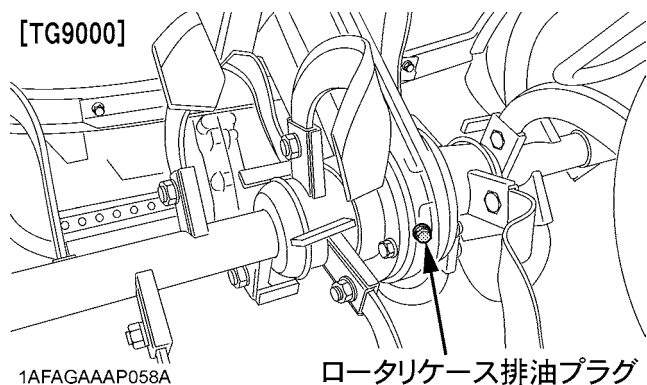
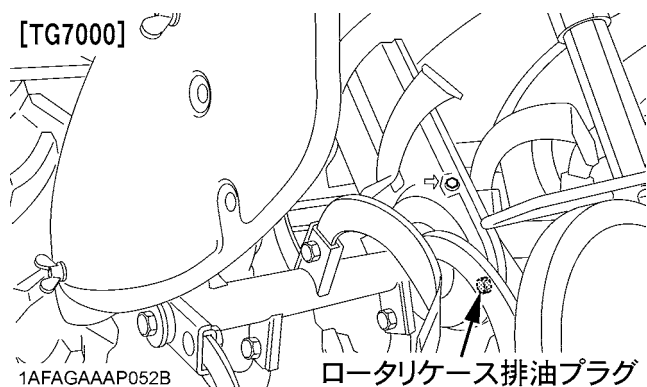
＊ オイルを交換する場合は，ケース内のゴミも同時に排出させるために，オイルが暖まっている状態のとき排出してください。

■ロータリケースオイルの交換

◆ **給油のしかた**

機体を水平にし，検油プラグまで給油してください。

[TG7000]

[TG7000]

[TG9000]

◆ **排油のしかた**

機体を水平にし，ロータリケース排油プラグを外して排油します。この時，必ずオイルパン等で受けてください。

[TG7000]

[TG9000]

重 要

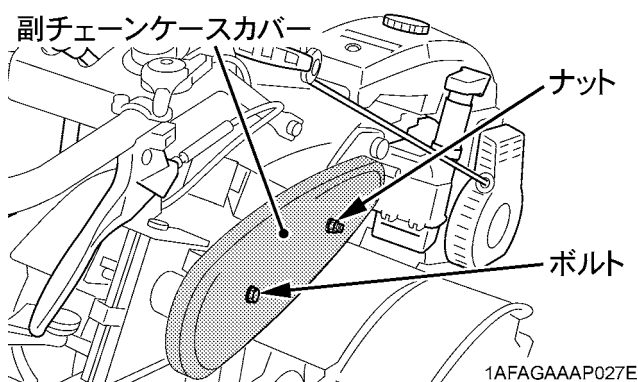
* 粗悪なオイルを使用しますと，機械の寿命を急激に縮めますので，購入先でクボタ純オイル M80B,M90(NEW UDT 又はスーパーUDT-2 も使用可）とご指定の上，お求めください。(次の**オイルの点検と交換表**を参照)
* 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。
* オイルを交換する場合は，ケース内のゴミも同時に排出させるために，オイルが暖まっている状態のとき排出してください。

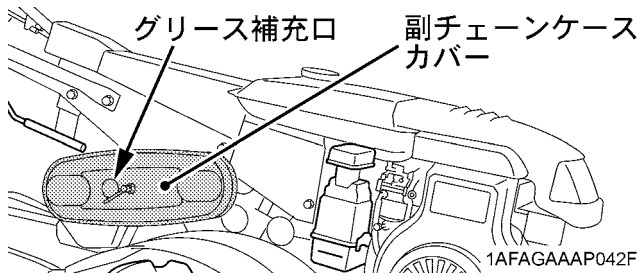
オイルの点検と交換表

形式名		TG7000	TG9000
エンジンオイル	オイル量	0.65L	1.0L
	点検方法	エンジン水平	
	交換第一回目	20時間使用後	
	交換第一回目以後	50時間使用後	
	オイルの種類	クボタ純オイル（ガソリンエンジン用）スーパー G　10W-30	
ミッションオイル	オイル量	3.3L	6.2L
	点検方法	機体水平	
	交換第一回目	20時間使用後	
	交換第一回目以後	年一回	
	オイルの種類	クボタ純オイル M80B,M90(NEW UDT 又はスーパー UDT-2 も使用可）	
ロータリケースオイル	オイル量	0.6L	2.2L
	点検方法	機体水平	
	交換第一回目	20時間使用後	
	交換第一回目以後	年一回	
	オイルの種類	クボタ純オイル M80B,M90(NEW UDT 又はスーパー UDT-2 も使用可）	

■副チェーンケースのグリース補充［R・F 仕様］

[TG7000]

副チェーンケースカバーを外し，良質グリースを適量補充してください。

[TG9000]

グリース補充口より良質グリースを適量補充してください。

50 時間ごと	クボタチェーングリース または良質グリースを適量

■エアクリーナエレメントの清掃とオイル交換

1. エレメントは時々白灯油で洗い，エンジンオイルを塗布して，よく振切ってから取付けてください。
2. オイルパンはよく洗浄し，新しいエンジンオイルを規定量入れてください。
   - 規定量……**OIL LEVEL** と記載されているところ

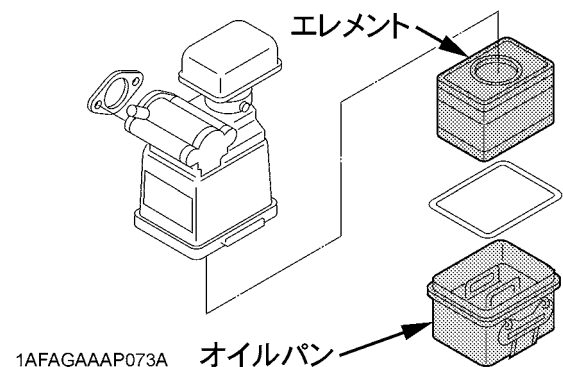
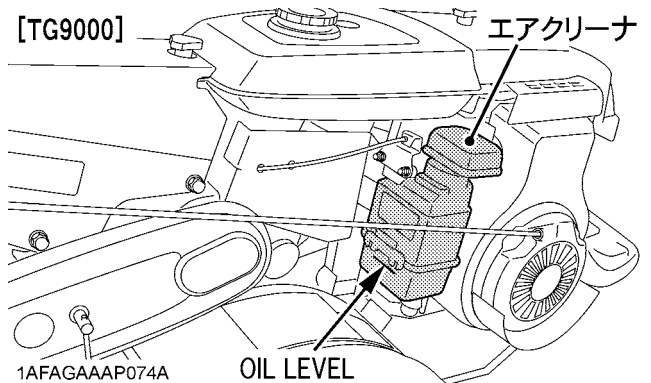
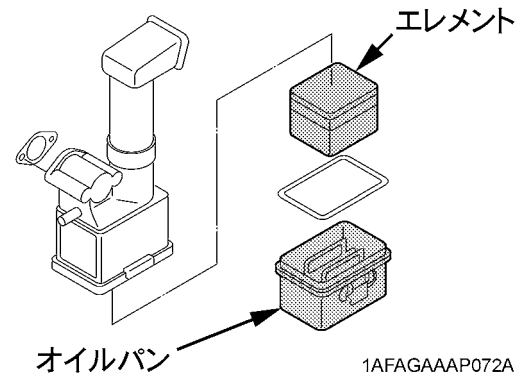
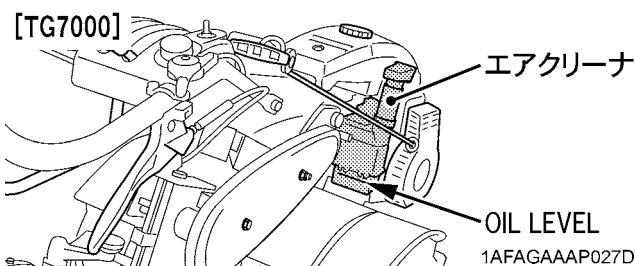
重　要

＊ エアクリーナを取外したままエンジンを運転しないでください。ゴミやホコリを吸込み，エンジン不調やエンジン異常摩耗の原因となります。

＊ 汚れたまま使用しますと，エンジンの出力低下や故障の原因になります。

エレメント（オイル）	清掃	通常	50 時間ごと
		ホコリの多い場合	毎日
	交換	汚れがひどいとき	

＊ チリやホコリが多く発生する作業で使用する場合は，
　(1) ホコリの少ない方向にエアクリーナ吸込口を向けてください。
　(2) 毎日点検してください。

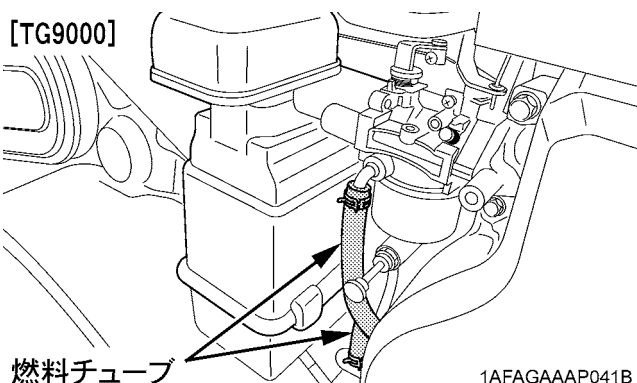
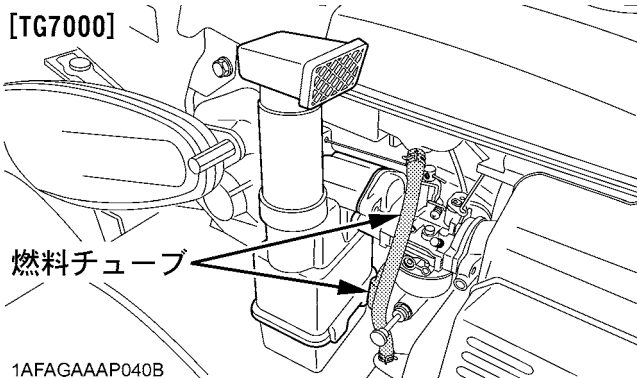
＊ 規定量よりエンジンオイルを入過ぎると，エンジン不調の原因となります。

■燃料チューブの交換

交換にあたっては，購入先にご相談ください。

＊ 燃料チューブは自然劣化したり傷があると，ガソリンもれして火災の原因となります。作業前に毎回点検し，ヒビや割れが発生したものは，新しい燃料チューブと交換してください。

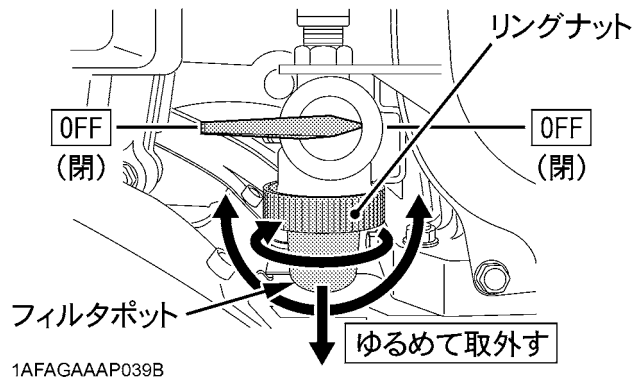
交　換	2 年間ごと

[TG7000]

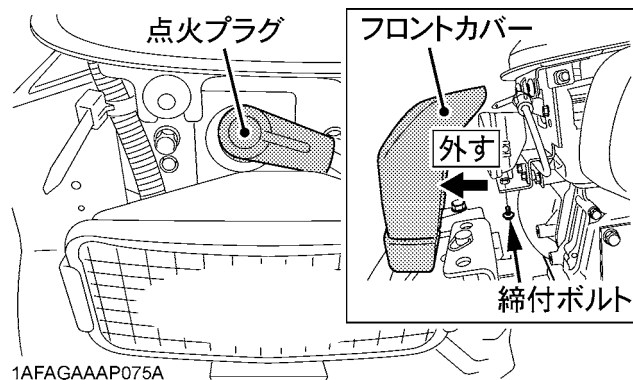
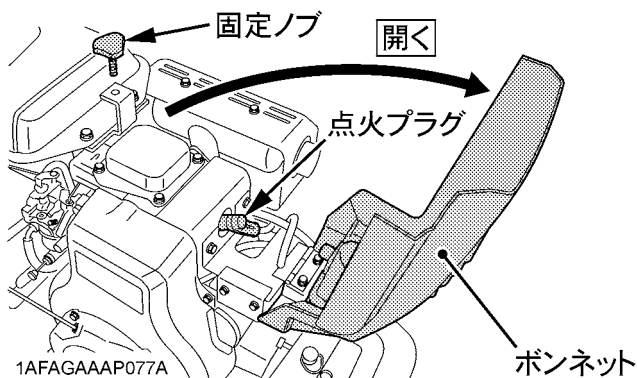
[TG9000]

■燃料フィルタの清掃

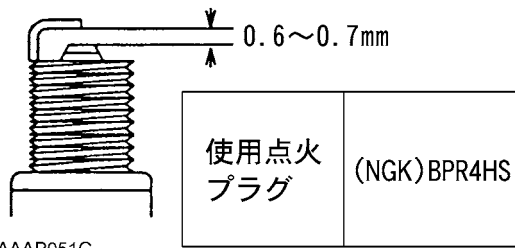
＊ 取付け後，ガソリンもれがないか確認してください。

1. 燃料フィルタは，燃料のゴミを取除きます。取除かれたゴミは，ポットの底にたまります。
2. 燃料コックレバーを**[閉]**にし，フィルタポットを外し，ポットの底にたまっているゴミや水を捨ててください。
3. 燃料タンク内を点検し，底に異物がたまっている場合は，取除いてください。

100 時間使用ごと	フィルタの清掃
300 時間使用ごと	タンクの清掃

■点火プラグの調節・清掃・交換

＊ 高温部が冷えてから行なってください。

1. **[TG7000]**
   フロントカバー締付けボルトをゆるめてカバーを外します。

[TG9000]
ボンネット固定ノブを外し，ボンネットを開きます。

2. プラグ用ボックススパナでプラグを外して，清掃します。
3. 電極のすきまが 0.6 ～ 0.7mm になるように調節してください。

4. 点検調節は６ヶ月に１回行ってください。

1AFACAAAP051G

5. 作業が終わったら，カバーを元の位置に戻してください。

重　要

＊ プラグ締付け時は，ネジ山をつぶさないように，はじめに手で締め込んでから，ボックススパナで締付けてください。
＊ 調節・清掃してもエンジンが不調なときは，新しいプラグと交換してください。
＊ プラグを外したまま始動操作をしないでください。

■タイヤ空気圧

＊ タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引き起こす原因になります。
＊ タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
＊ タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

空気圧が高すぎても低すぎても，タイヤの寿命を縮めますから，定期的に空気圧を調べ，適正になるように調節してください。

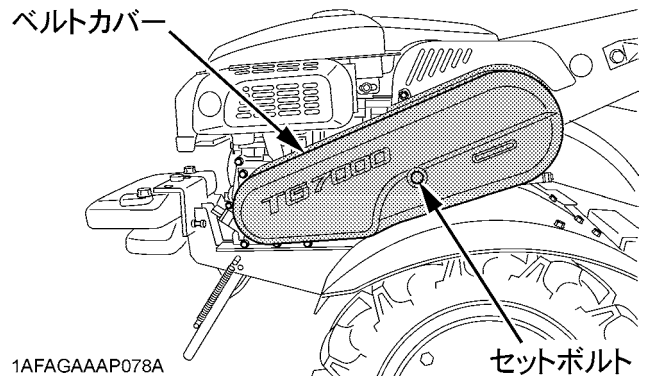
適正空気圧	120kPa (1.2kgf/cm²)

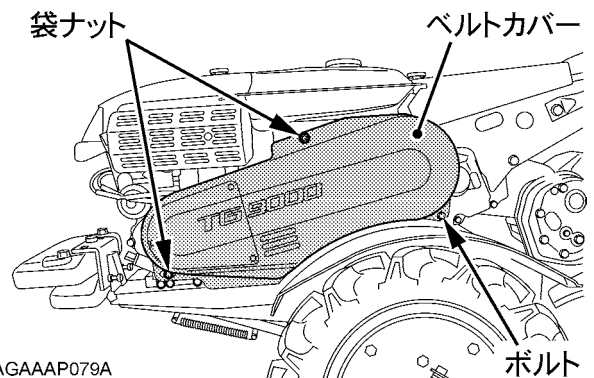
空気を入れるには，エアーコンプレッサ，又は自動車などのタイヤに空気を入れる高圧手押しポンプを用いてください。

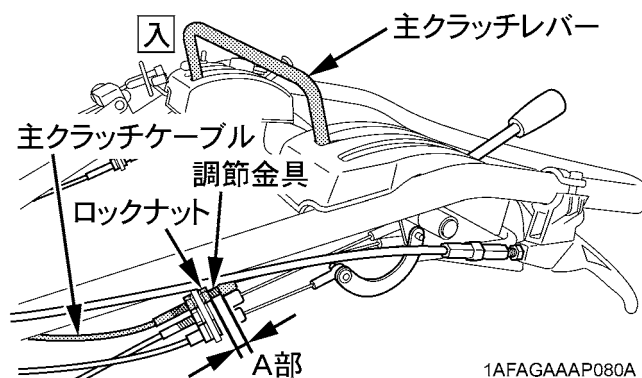
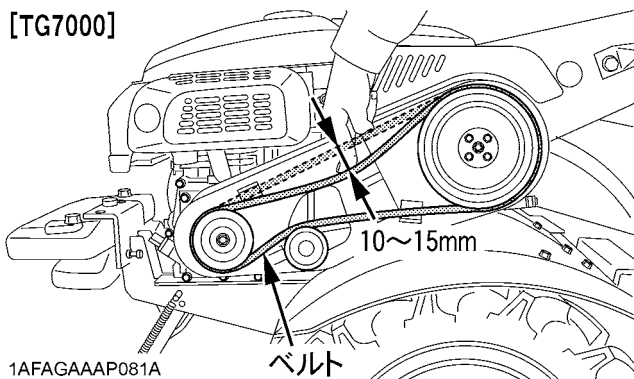
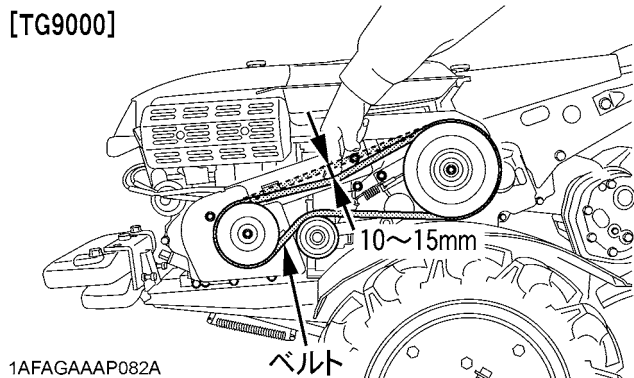
■主クラッチケーブルの調節

＊ ベルト調節を行なう場合は，必ずエンジンを停止して行なってください。
＊ 調節が終わったら必ずベルトカバーを取付けてください。巻込まれるなど傷害事故を引起こすおそれがあります。
＊ エンジンを始動する前に，主変速レバーを中立にしてください。
＊ 調節・確認時は周囲に人や動物を近づけないでください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

1. **[TG7000]**
   ベルトカバーのセットボルトを外し，ベルトカバーを取外します。

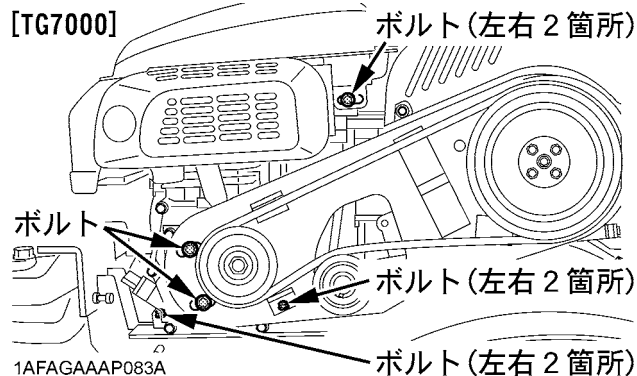
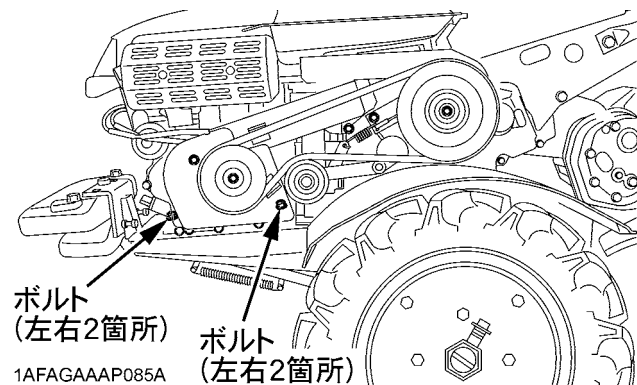
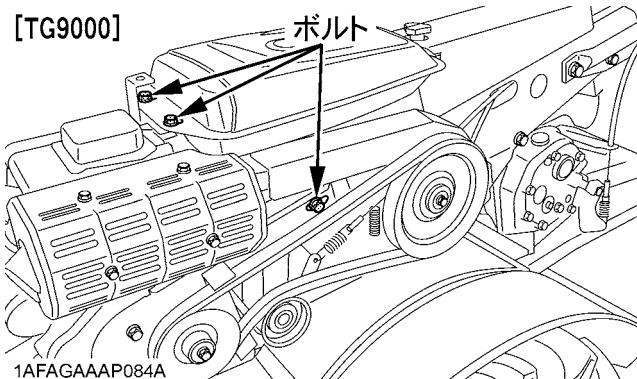
1AFAGAAAP078A

[TG9000]
ベルトカバーの袋ナット・ボルトを外し、カバーを取外します。

1AFAGAAAP079A

2. 主クラッチレバーを入れた状態で，ベルトの中央部を指で押えて10～15㎜たわむ程度に，ケーブル調節金具でテンションプーリを調節します。なお，使用初期はベルトが伸びやすいため，10時間使用後ケーブルを再調節してください。

ベルトがスリップする場合	調節金具のＡ部を短かくする
主クラッチレバーが重すぎる場合	調節金具のＡ部を長くする

［TG7000］

［TG9000］

◆ エンジン前後によるベルトの調節

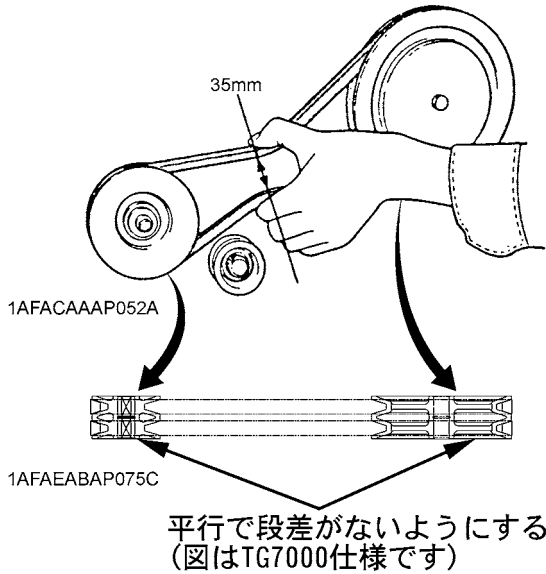
ベルトが伸びたり，又は新しいベルトに取替えたとき，主クラッチケーブルで主クラッチの調節ができない場合は，エンジンを前後に移動して調節します。

1. ベルトカバーを止めているノブを外し，ベルトカバーを取外します。
2. エンジンを固定しているボルトをゆるめて調節します。調節後は確実にボルトを締付けてください。

［TG7000］

［TG9000］

重　要

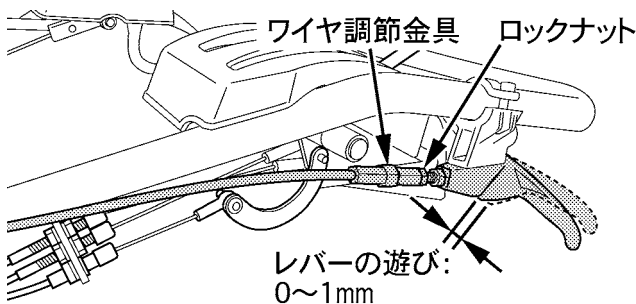
＊ 主クラッチケーブルを調節した場合，エンジンを始動してクラッチの［入］・［切］が確実に作動するか確認してください。

◆ 新しいベルトに交換する場合

新しいベルトに交換する場合は，ベルト中央部を指ではさんですき間が約35㎜たわむくらいにして，エンジン固定ボルトを締付けてください。その際，２つのプーリが平行で段差がないようにエンジンを固定してください。

■操向クラッチケーブルの調節

操向クラッチレバーを握っても操向クラッチが切れにくい場合，また操向クラッチレバーを放しても入りにくい場合，ケーブル調節金具のロックナットをゆるめてレバーの遊びを0～1mmに調節します。

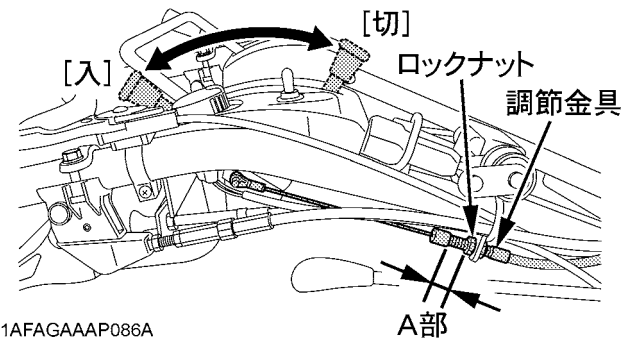
切れにくい場合	調節金具を長くします。
戻りにくい場合	調節金具を短かくします。

調節後はロックナットを確実に締付けてください。

1AFAGAAAP047E

■駐車ブレーキの調節

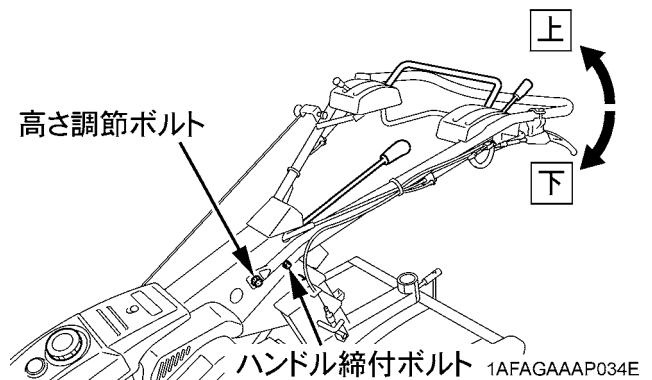
主クラッチレバーが［入］位置でブレーキが効き，［切］位置でブレーキが解除されるか点検してください。

◆ 調節の仕方

［入］位置でブレーキが効かないとき	調節金具の A 部を短くする。
［切］位置でブレーキが解除されないとき	調節金具の A 部を長くする。

1AFAGAAAP086A

■ハンドル高さの調節

＊ **平坦な場所に機械を安定させて，エンジンを必ず停止して行なってください。傷害事故のおそれがあります。**

1. ハンドル締付ボルト（左右共）をゆるめてください。
2. 高さ調節ボルト（左右共）を外してください。
3. ３段階の高さが調節できます。希望する高さに調節後は各ボルトを確実に締付けて下さい。

■スロットルレバーの調節

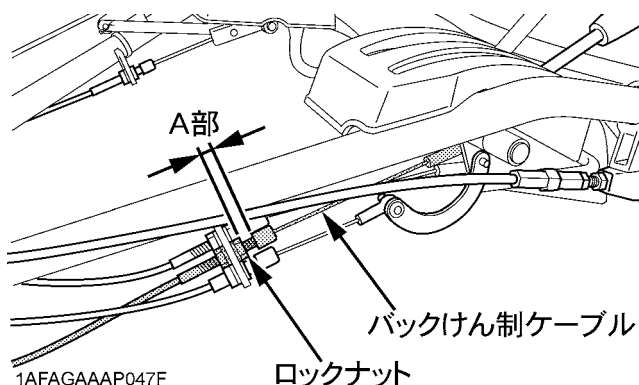
スロットルレバーを最高回転にしてもエンジン回転が上がらないときは，ご購入先にお問い合せください。

■バックけん制装置の調節

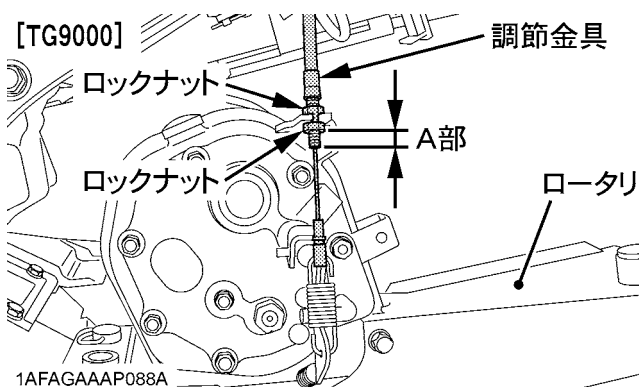
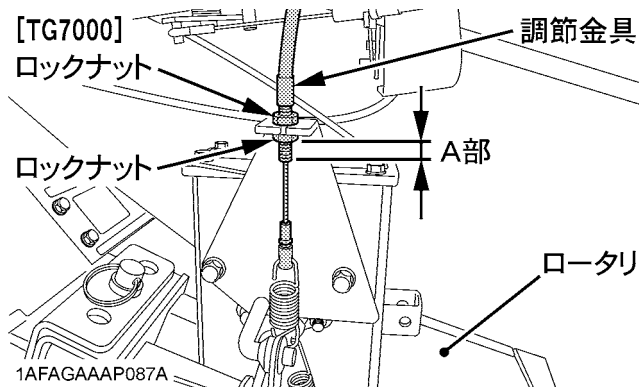
ロータリレバーと主変速レバー **[後進]** 位置に安全装置をもうけてあります。

- ロータリレバーが **[入]** 位置のときは主変速レバーは **[後進]** 位置に入りません。
- 主変速レバーが **[後進]** 位置に入っているときはロータリレバーは **[入]** 位置に入りません。

上記のけん制が作用しない場合は, バックけん制ケーブルのロックナットをゆるめ, A部の長さを調節金具で調節してください。

主変速レバーが **[後進]** 位置に入っているのに，ロータリレバーが **[入]** 位置に入る場合	調節金具の A 部を短くする。
ロータリレバーが **[入]** 位置に入っているのに，主変速レバーが **[後進]** 位置に入る場合	
主変速レバーが **[後進]** 位置に入っていないのに，けん制が働いてロータリレバー入らない場合	調節金具の A 部を長くする。
ロータリレバーが **[切]** 位置なのに，けん制が働いて主変速レバーが **[後進]** 位置に入らない場合	

■ロータリケーブルの調節

[R・F 仕様のみ]

1. エンジンを始動し、主変速レバーを **[中立]** 位置に入れ主クラッチレバーを **[入]** 位置にします。
2. ロータリレバーを **[入]・[切]** して、ロータリ爪軸の回転・停止が確実に行なえるか点検します。
3. 点検をしてロータリレバーが **[切]** 位置の時に爪軸が回転する場合は、ケーブル調節金具のロックナットをゆるめて調節金具のA部を長くする方向に調節します。

■耕うん爪の取付けかた

- ＊ **爪の交換時は，エンジンを停止してください。**
- ＊ **サイドカバーを外した時は，危険ですから必ず，爪交換後サイドカバーを確実に取付けてください。**
- ＊ **爪交換時はロータリに付いた土を落とし，ロータリ部が落下しないようにしてください。**
- ＊ **上記の手順をおこたると，傷害事故のおそれがあります。**

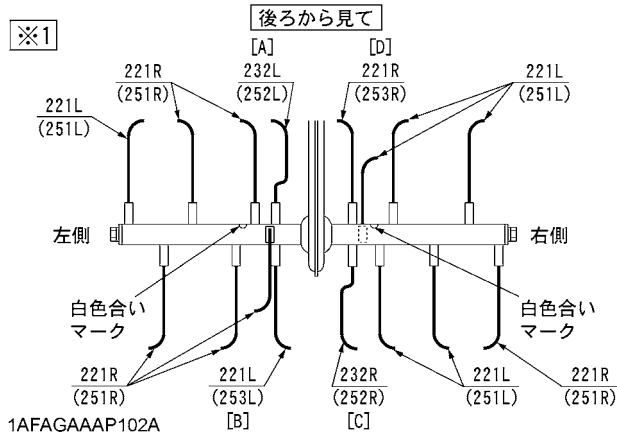
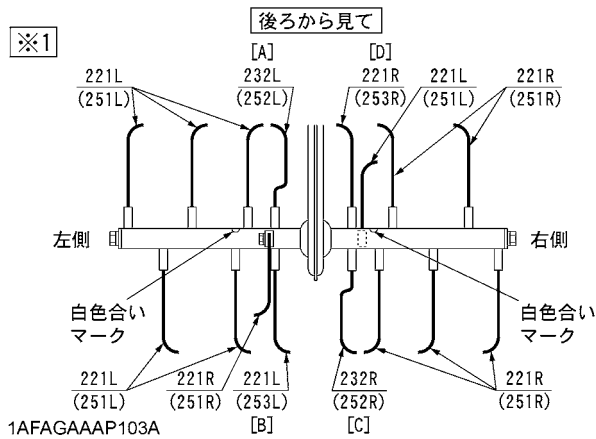
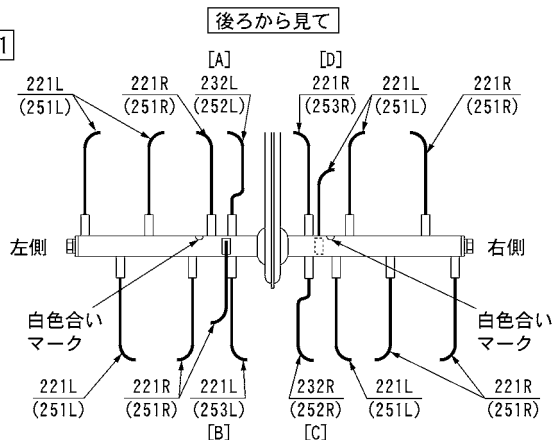
重　要

- ＊ 爪軸ブラケットと耕うん爪の番号を合わせ，間違いのないように取付けてください。
- ＊ 爪軸は，左右の合いマーク（白色）が一列になるように組付けてください。
- ＊ 図中 (A)(B)(C)(D) 及び（左）（右）印は爪ブラケットの刻印位置を示しています。

◆ 耕うん爪は下図のように取り付けます。

[TG7000-R・9000-R 仕様]

標準/RY仕様ロータリ 耕幅60cm

● 外盛り・畝立て・畝くずし作業の場合

● 内盛り耕うんの場合

● 平面耕うんの場合

※1 耕うん爪番号：
（ ）なし番号は、標準ロータリ
（ ）付き番号は、RY仕様ロータリ

1AFAGAAAP104A

[TG7000-R・9000-R 仕様]

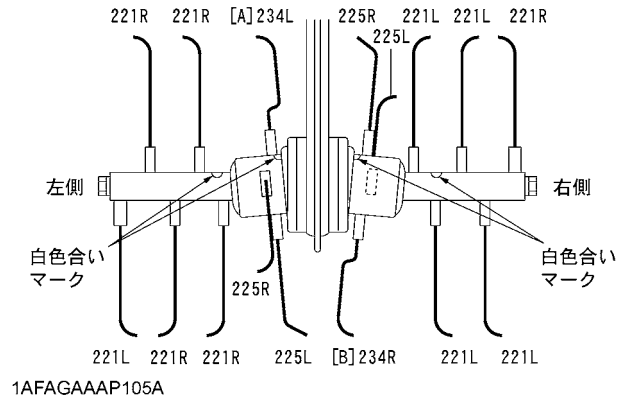
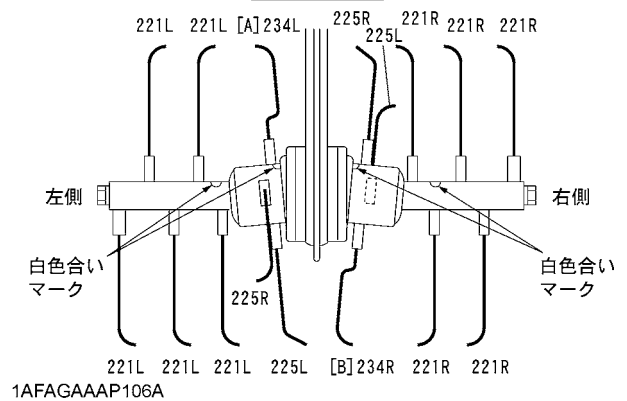
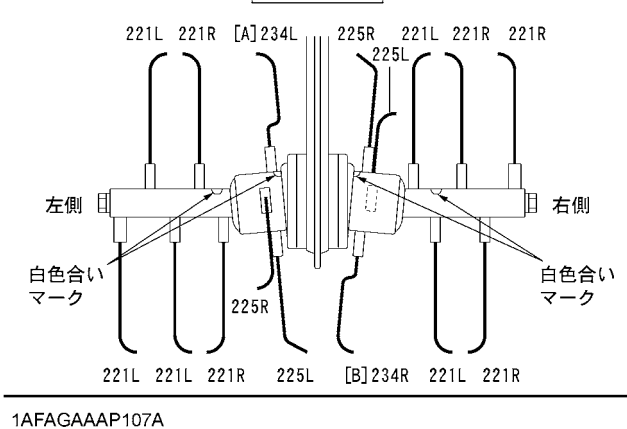
[TG7000-F・9000-F 仕様]

フルカットロータリ 耕幅60cm

● 外盛り・畝立て・畝くずし作業の場合

● 内盛り耕うんの場合

● 平面耕うんの場合

1AFAGAAAP107A

[TG7000-F・9000-F 仕様]

[TG9000-RD 仕様]

D標準ロータリ延長爪軸 耕幅80cm

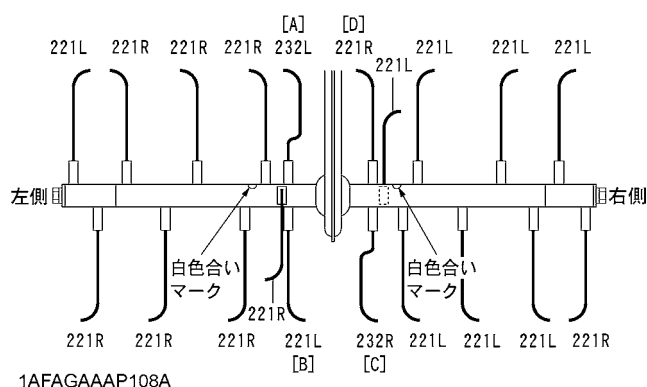
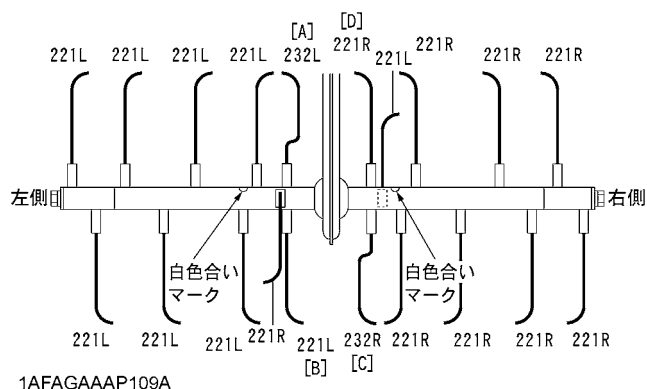
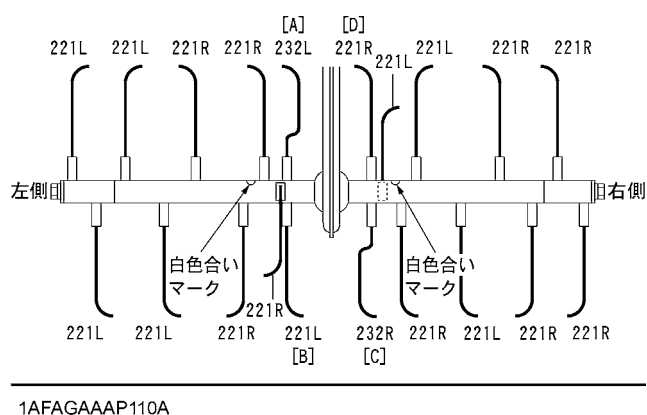
● 外盛り・畝立て・畝くずし作業の場合

1AFAGAAAP108A

● 内盛り耕うんの場合

1AFAGAAAP109A

● 平面耕うんの場合

1AFAGAAAP110A

[TG9000-RD 仕様]

◆ 締付けトルク

対象	トルク
標準ロータリ（M10） D標準ロータリ（M10） RY仕様ロータリ（M10） フルカットロータリ（M10）	49 ～ 57 N・m

補　足

＊ 爪の内外の向き，ならびに種類を間違えないようにしてください。

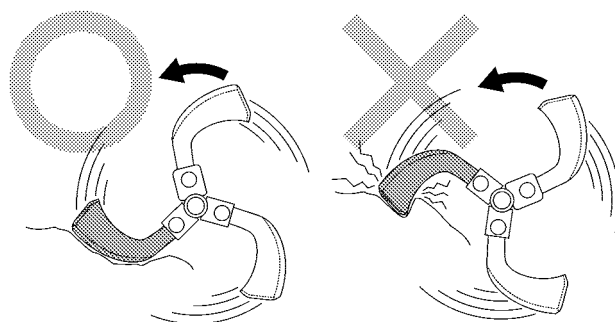
＊ 作業前には爪の取付けボルト・ナットにゆるみがないか確認し，増締めをしてください。

＊ 爪を交換後は，ボルト・ナットを確実に締めてください。

◆ ナタ爪の取付け時の注意

重　要

＊ 爪軸の取付け方法と逆の回転方向で使用すると，故障や前方への飛び出しの原因となります。

爪を取付ける向き

1AFACABAP084A

使用後の手入れ

使用後は，必ずその日に清掃を行ない，各部に付いている土やゴミを落とし，各しゅう動部は錆びないように油やグリス及び防錆剤を適宜塗布します。特にファンカバー内にゴミが詰まりますと，エンジンの焼付きなどの原因になりますので，よく点検・清掃を行なってください。

重　要

＊ 水洗いのとき，エアクリーナ吸込口から水が入らないようにカバーをしてください。

■エンジン始動不良を防ぐために

エンジン停止後，必ず燃料コックレバーを閉めてください。

重　要

＊ コックレバーを開いたままの状態で，保管したり，前に倒したり，また車両で運搬したりすると，エンジン始動が困難となる場合があります。また，クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

■長期格納時の手入れ

＊ カバーをかけたり，納屋に格納するときは，エンジンが冷えてからにしてください。火災のおそれがあります。

＊ 燃料がこぼれたときは，きれいにふき取ってください。爆発・火災のおそれがあります。

1. 駐車ブレーキを**【入】**の位置にして保管します。
2. 燃料タンク・キャブレタ・フィルタポットの中のガソリンは全て抜取ります。（１ヶ月以上使用しないとき）
3. オイルを交換し，各部をきれいに掃除します。
4. エアクリーナエレメントを，掃除します。
5. エンジンのシリンダ内に湿気が入って，始動が困難になるのを防止するため，リコイルスタータハンドルを引張って，圧縮位置で止めます。
6. カバーをかけ，湿気や草・ワラ及びホコリのない場所に置きます。

重　要

＊ ほ場に保管していると，地面からの湿気が多いのでさびやすくなります。

■燃料の抜取り

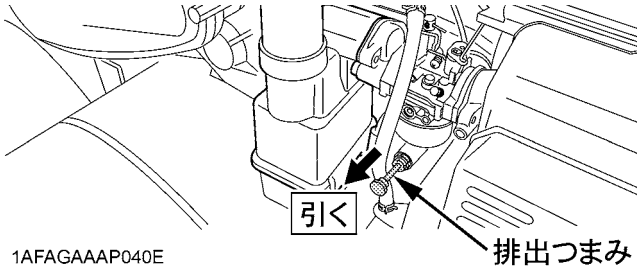
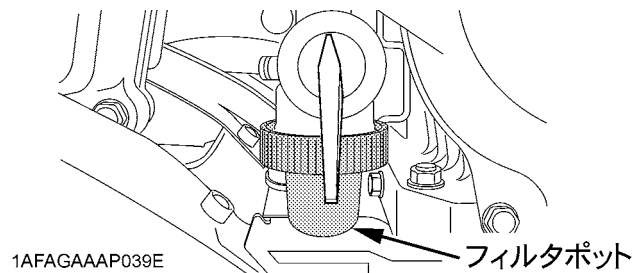
＊ 燃料を抜取るときはエンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。

＊ 火気厳禁。くわえ煙草での給油は絶対にしないでください。

＊ 燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。

１ヶ月以上使用しないとき，燃料タンク内のガソリンはポンプなどを使用して抜取り，キャブレタ内は排出つまみを引いて，フィルタポットは外して全部抜取ってください。

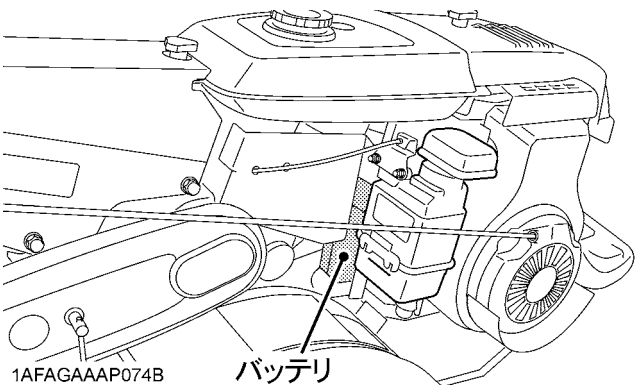
重　要

＊ 燃料をそのままにしてくと，燃料タンクやキャブレター内のガソリンが変質し，次の始動が困難になります。

1AFAGAAAP040E

1AFAGAAAP039E

バッテリの点検

[TG9000-E 仕様]

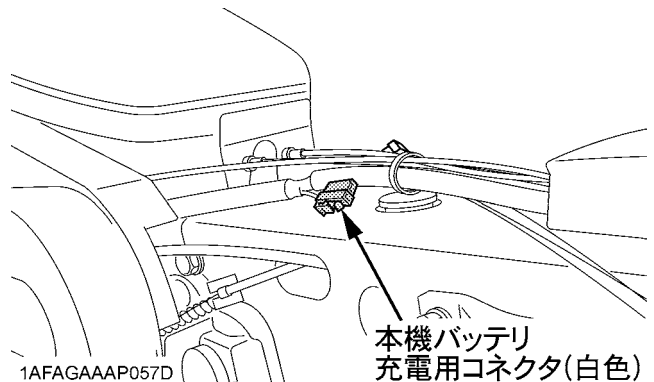
■バッテリの交換

バッテリは　MF（メンテナンスフリー）バッテリを使用していますので，バッテリ液の補水の必要はありません。バッテリが劣化し充電できないなどバッテリを交換する際は，機械の損傷のおそれがありますので，必ず販売店に連絡して交換してください。

1AFAGAAAP074B

■専用充電器での補充電方法

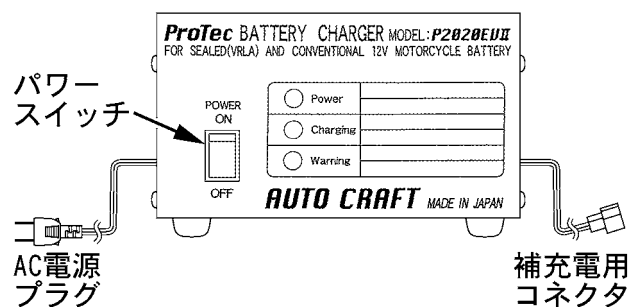
警　告

＊ バッテリの点検時にはエンジンを停止し，メインスイッチを［停止］にしてください。
＊ バッテリに火気を近づけたり，ショートさせると爆発の危険がありますので注意してください。
＊ 一般充電器を改造し，補充電用コネクタに接続しないでください。
火災のおそれがあります。

- 専用充電器（オプション部品）を用いての補充電方法です。
- 専用充電器を用いれば，バッテリから（＋）コードを外すことなく，本機バッテリ充電用コネクタ（白色）に接続するだけで，簡単に充電できます。

1AFAGAAAP057D

専用充電器

品　番	品　名	用　途
KK251-5560-2	充電器アッシ	E 仕様

◆ 部品の名称とモニタ表示

1AFAEACAP005A

◆ 主な仕様

形式名		P2020EV Ⅱ
入力		AC 100 V 50/60 Hz
出力	電圧	20/15 V
	電流	2.0 A
寸法 (mm)	幅	145
	奥行	176
	高さ	80
質量（kg）		約1.5
コード寸法（m）	入力側	約1.5
	出力側	約1.5
適用バッテリ		YTX9-BS（GSユアサ電池）

（寸法に突起物は含まず）

◆ 使用の前に

1. 必ずパワースイッチがOFFになっていることを確認してから作業を始めてください。
2. 本器はTG9000-E仕様用12Vバッテリを全自動で充電することができ，シール形鉛バッテリに対しても適切な充電特性を持つオートマチックチャージャーです。また放電の程度が深く内部抵抗が大きいバッテリを高い充電電圧により回復を促進する機能や回復不能バッテリを異常LEDで表示する機能を持っています。
3. 本器は充電が完了すると自動的に充電を停止するオートストップ機能付ですが，バッテリの状態によっては自動停止しない（Charging（緑）LEDが点滅に移行しない）ことがあります。この場合は下表の目安時間により手動でパワースイッチを切ってください。

充電時間の目安：約7時間

※ 20%充電状態から充電完了（ほぼ100%充電）で自動停止する迄の目安時間です。

◆ 使用方法

1. 機能と動作
   充電開始後はモードⅠで進行し，30分経過すると自動でモードⅡに切り替わります。以降はモードⅡで推移します。
   モードⅠでは長時間放置され，通常の充電で回復できない状態のバッテリを高電圧（20V）をかけることで回復させることができます。
   モードⅠで充電電圧が20V以上(回復不能バッテリ）になるか補充電用コネクタの接続不良があるとWarning（オレンジ）LEDが点灯します。
   モードⅡで充電電流が 0.6A 以下になるとCharging（緑）LEDが点滅し，80%以上充電状態になったことを示します。
   その後，約3時間で消灯し，自動で充電を停止します。
   補充電用コネクタを短絡させた場合，過電流保護回路により回路は保護されます。
2. 使用方法
   (1) TG9000-E仕様用バッテリは密閉形バッテリです。密封栓は絶対に外さないでください。
   (2) パワースイッチがOFFになっていることを確認し，補充電用コネクタを本機バッテリ充電用コネクタ（白色）に接続してください。
   (3) 電源プラグをコンセントに差し込んだ後，パワースイッチを ON にしてください。Power（赤）LEDとCharging（緑）LEDが点灯し充電を始めます。
   モードⅠの状態で高い充電電圧（20V/2.0A）による充電が行なわれます。
   注）Warning（オレンジ）LEDが点灯の場合
   1) まず充電クリップが正常に接続されているか確認してください。
   2) 正しく接続されていた場合，バッテリが放電状態での放置時間が長いため劣化したり，電解液不足による故障などが想定されます。この場合充電しても回復できませんので新品バッテリと交換が必要となります。
   (4) 充電が進み約30分経過すると，内蔵タイマーにより出力がモードⅠからモードⅡに切り替わり，通常の充電電圧（15V/2.0A）となります。
   (5) バッテリの充電状態が 80% 位になるとCharging（緑）LED が点滅し始め内蔵タイマーが作動します。この状態で使用しても，実用上問題ありません。
   (6) 充電モニタが点滅を始めて約3時間でCharging（緑）LED が消灯し自動で充電を停止します。この時ほぼ満充電状態です。
   (7) 充電を終了する場合は必ずパワースイッチをOFFにした後，補充電用コネクタを取り外してください。

3．動作表示 LED と状態

赤 LED	緑 LED	オレンジ LED	充電器の状態
消灯	消灯	消灯	充電器停止
点灯	点灯	消灯	充電中
点灯	点滅	消灯	約 80% 充電状態（タイマー動作中）
点灯	消灯	消灯	充電完了
点灯	消灯	点灯	バッテリへの接続不良 充電電圧 20V 以上（バッテリ不良）

◆ 異常時の点検方法

症　状	原　因	処　置
Power（赤）LED が点灯しない	・電源がきていない ・電源プラグが外れている	電源を確かめ電源プラグをしっかりと差し込んでください
充電目安時間を超えても Charging（緑）LED が点滅しない	・過放電バッテリです ・不具合バッテリです	充電時間の目安は 80% 放電の場合です Charging（緑）LED が点滅しない場合はバッテリ不良です
充電開始直後に Warning（オレンジ）LED が点灯する	・補充電用コネクタが正しく接続されていません	補充電用コネクタを正しく接続してください
	・不具合バッテリです	充電を継続しても容量回復ができません 新品バッテリ交換をおすすめします

◆ 専用充電器以外での補充電方法

重　要

＊ 専用充電器以外でバッテリに充電する場合は，バッテリを取外す必要がありますので，販売店に連絡し相談してください。

1．バッテリからコードを取外すときは必ず（－）側から外してください。（（＋）側から外すと，工具などが接触したときにショートすることがあります）
2．充電はバッテリの（＋）を充電器の（＋）に，バッテリの（－）を充電器の（－）に接続して行ないます。充電器はユアサ MB2012 のご使用をお奨め致します。充電器の取扱説明書をよく読んで行なってください。
3．端子電圧を測定し充電状態を確認して，下表の要領で補充電を行なってください。

端子電圧	充電状態	充電方式	
		MB2012 使用	小型充電器使用　＊１
12.65V 以上	100 ～ 80%	補充電不要	補充電不要
12.65 ～ 12.3V	80 ～ 55%	充電中の表示 ライト消灯まで	2.5 ～ 6 時間
12.3 ～ 12.0V	55 ～ 20%		6 ～ 10 時間
12.0V 未満	20 ～ 0%		10 ～ 12 時間

重　要

＊ １　小型充電器を用いて充電する場合，下記充電電流を厳守してください。

	バッテリ型式	充電電流
TG9000-E 仕様	YTX9-BS（GS ユアサ電池）容量（10HR）8Ah	0.9A

◆ **エンジン運転による補充電方法**

端子電圧を測定し充電状態を確認して，下表の要領で補充電を行なってください。

端子電圧	充電状態	充電時間
12.65V 以上	100 ～ 80%	補充電不要
12.65 ～ 12.3V	80 ～ 55%	1.3 ～ 3 時間
12.3 ～ 12.0V	55 ～ 20%	3 ～ 5 時間
12.0V 未満	20 ～ 0 %	5 ～ 6 時間

※エンジン最高回転時の充電時間です。
（充電電流…約 1.5A）

◆ **補充電後のバッテリ良否判定**

補充電完了後，静止状態で 60 分以上経過後，端子電圧を測定してバッテリの良否を判定してください。

端子電圧	バッテリ良否判定
12.65V 以上	良好
12.65 ～ 12.0V	再充電（2 回まで）
12.0V 未満	不良（バッテリ交換）

重　要

＊ 一般の容量の大きい充電器は絶対使用しないでください。
＊ 専用充電器以外でのバッテリの充電は，必ず本機から取外して行なってください。
（バッテリの取外しは販売店に連絡し相談してください。）
取付けたままで充電すると電装品，配線などを傷めることがあります。
＊ MF バッテリの密閉栓は絶対外さないでください。
バッテリは完全密封式ですからバッテリ液の点検，補水は不要です。
＊ 端子の締付けは確実にしてください。また，端子が錆びないようにグリースを塗布しておいてください。
＊ バッテリを再度取付けるときは，バッテリの（＋）コードを取付けてから，（－）コードを元どおり配線し，まわりに接触しないように締付けてください。
＊ バッテリの（＋）側には，ゴムブーツを必ず取付けてください。

◆ **保存中の管理**

バッテリは保存中でも自己放電しますから，夏は 2 ヵ月に 1 度，冬は 3 ヵ月に 1 度，3 時間程度の実作業をするか，同等の空運転を行なうか，又は専用充電器を使用して充電してください。

警　告

＊ 充電中，タバコなど火気を近づけないでください。
＊ 充電は屋内の風通しが良く直射日光の当たらない場所で行なってください。
周囲温度 0 ～ 40℃の範囲内で使用ください。
＊ 専用充電器の通気孔はふさがないでください。
＊ バッテリと専用充電器を接続したり外したりする時は，必ず専用充電器の出力スイッチを［OFF］の位置で行なってください。又，充電用コネクタは短絡（ショート）させないでください。
＊ 専用充電器は，ガソリン，シンナーなど揮発性可燃物の近くで使用しないでください。
＊ 長時間充電を行なう場合でも 3 日以内としてください。
＊ この専用充電器の交流入力は 100V です。指定外の電源電圧で使用しないでください。
＊ 湿度の高い場所，雨，雪など水分のかかる場所では使用しないでください。
漏電，感電および本器の故障の原因となることがあります。
＊ ヒューズ切れが発生したら，原因を取除いてから同一定格のヒューズに取替えてください。定格以外のヒューズを使用すると，充電器の過熱，発火の原因となります。
＊ 充電器本体や電源コード，出力コードの接続部に，他の金属類を差込んだり接続しないでください。感電，発熱および発火の原因となります。
＊ 木くず，可燃性オイルなど可燃物の近くで使用しないでください。火災の原因となることがあります。
＊ 異常や不具合が生じた場合，使用者による修理はしないでください。
＊ 塩害や塵廃，化学性ガス，振動を受けやすい場所で使用したり，保管しないでください。
＊ コード類を無理に曲げたり，上に物を載せないでください。また，芯線の腐蝕，切り欠などによる露出がないか確認してください。
＊ 使用しない時は，電源コードはコンセントから抜いておいてください。また，コードを引張らずプラグを持って抜いてください。
＊ 本器を分解したり，改造したりしないでください。

警告

＊ 換気が不じゅうぶんな所では，エンジン運転での充電はしないでください。排気ガスにより一酸化炭素中毒のおそれがあります。

電気配線及びヒューズ

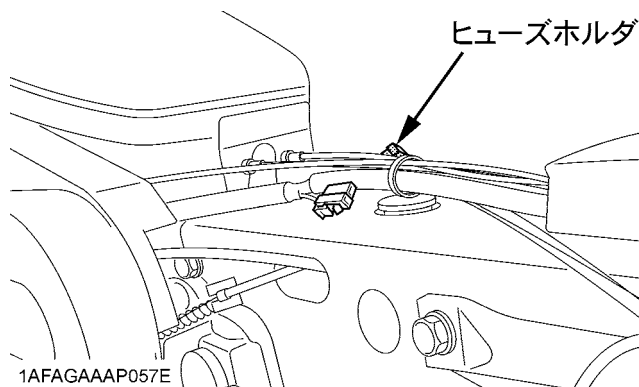
＊ ワイヤハーネス及びバッテリ（＋）コードが損傷していると，火災のおそれがあるので必ず点検してください。

＊ バッテリ，配線及びマフラやエンジン周辺部にワラクズ，ゴミや燃料の付着などがあると，火災の原因となるので毎日作業前に点検してください。

ワイヤハーネス，バッテリ（＋）コードの被覆は各部の角に接触して損傷したり，自然劣化することがありますので，下記の項目を点検してください。

1. ワイヤハーネスの損傷及びクランプのゆるみがないこと。
2. ターミナル，ブロック（ソケット）の接続部のゆるみがないこと。
3. 各スイッチが確実に作動すること。

■ヒューズの交換

1. ハンドルカバーを外します。
2. ワイヤハーネス部のヒューズホルダ内のヒューズを交換してください。
（規定ヒューズ：15A）

重要

＊ ヒューズを交換してもすぐ切れてしまう場合は，針金や銀紙などを使用せず，購入先で点検を受けてください。

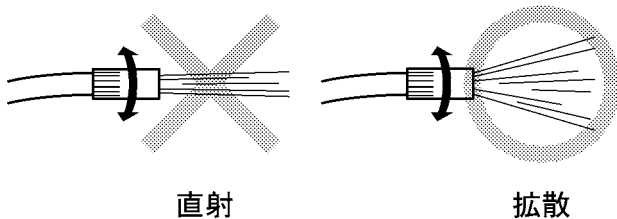
洗車時の注意

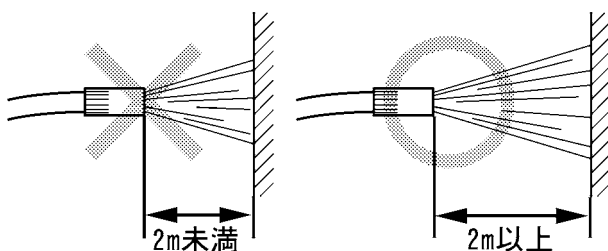
高圧洗車機の使用方法を誤ると人を怪我させたり，機械を破損・損傷・故障させることがありますので，高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って，正しく使用してください。

洗浄ノズルを拡散にし，２ｍ以上離して洗車してください。
もし，直射にしたり，不適切に近距離から洗車すると，
1. 電気配線部被覆の損傷・断線により，火災のおそれがあります。

重　要

＊ 洗車のしかたが不適切な場合，以下のような機械の破損・損傷・故障の原因になります。
［例］（1）シール・ラベルの剥がれ
（2）電子部品，エンジン・トランスミッション室内などへの浸入による故障
（3）オイルシールなどのゴム類，樹脂類の破損
（4）塗装，メッキ面の皮膜剥がれ

直射洗車厳禁

1AGACBRAP067A

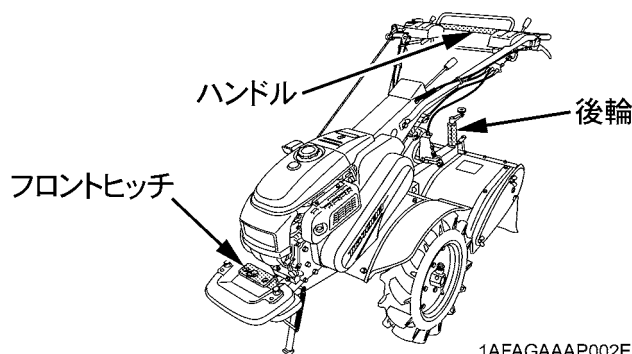
近距離洗車厳禁

1AGACBRAP068A

テーラーを運搬するとき

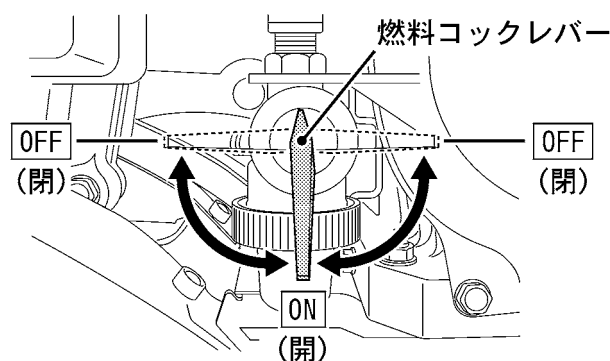
自動車（トラック）への積込み，運搬

警 告

＊ 積込み・積降ろしは，平坦で交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。
＊ アユミ板はすべり止めの付いた，機体重量に耐えるもので，トラックの荷台の高さ［１］に対しアユミ板の長さ［４以上］のものを使用し，確実に固定してください。
＊ ロータを装着しているときは，タイヤと交換して行なってください。ロータでの，アユミ板の上り・下りは危険です。絶対にしないでください。
＊ 足元に注意し，車速は最低速で上りは［前進］，下りは［後進］で行なってください。
＊ 途中で主クラッチや操向クラッチを切ったり，変速操作を絶対にしないでください。落下・転倒のおそれがあります。
＊ トラックは，荷台に天井がない車を使用してください。首や体をはさまれるおそれがあります。
＊ トラックでの運搬時は，タンク内のガソリンの量を，積込み・積降ろしに必要な最低量とし，残りのガソリンは，別に用意しておいた法で定められたタンクに移して運搬してください。火災のおそれがあります。

1. トラックを平坦な場所に止め，駐車ブレーキを掛けます。
2. あゆみ板を荷台に確実に固定します。
3. 車速は最低速で，上りは前進 **［１速］** で，下りは後進 **［１速］** にします。
4. 機体は荷台にロープで確実に固定します。
5. 機体にロープを掛けるときは，フロントヒッチ・ハンドル・リヤヒッチ・後輪のいずれか２箇所を固定します。

6. 駐車ブレーキレバーを **［入］** の位置にします。
7. 燃料コックレバーを **［閉］** にします。
8. 雨天時には，エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせます。
9. ロータを装着しているときは，タイヤと交換します。

重 要

＊ ロープを掛けるとき，変速レバーや樹脂カバー，小物部品にロープが触れないように気をつけてください。
破損したり機能が損なわれるおそれがあります。
＊ エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせないで運搬すると，雨水や砂ホコリが入り，エアクリーナ性能が低下します。
＊ 燃料コックレバーを **［開］** いたまま運搬すると，キャブレタ内でガソリンがオーバフローし，エンジン始動が困難となります。また，クランクケース内にガソリンが流入することもあります。

付表

主要諸元

型式名		TG7000	
販　売　型　式　名		TG7000-K	TG7000-KWR
機体寸法	全長　(mm)	1685	1800
	全幅　(mm)	715	
	全高　(mm)	1145	1125
機体質量（重量）　(kg)		107	176
エンジン	型式名	EH172B	
	種類	空冷４サイクル立型 OHV ガソリンエンジン	
	総排気量　（L {cc})	0.172 {172}	
	連続定格出力　(kW {PS} / rpm)	2.6 {3.5} / 1500	
	最大出力　(kW {PS})	4.6 {6.2}	
	使用燃料	自動車用レギュラーガソリン	
	燃料タンク容量　（L）	3.1	
	始動方式	リコイルスタータ式	
走行部	車輪（タイヤ）	4.00-12（セットボルト付）	
	輪距　(mm)	315 ～ 615	
	主クラッチ方式	ベルトテンション式	
	操向クラッチ方式	爪式	
	変速段数　(段)	前進：６（前進６速　けん制装置付）　後進：２（後進２速　けん制装置付）	
	走行速度　前進　(km/h)	0.59 ～ 10.46	
	走行速度　後進　(km/h)	0.37,　2.13	
	車軸〔ホイールチューブ〕の形状・寸法　(mm)	六角　対辺 31［六角内対辺 31，六角外対辺 44］	
	PTO 回転数　(rpm)	706	
ロータリ	駆動方式	-	センタドライブ ストレート仕様
	変速段数　(段)	-	1
	爪軸回転数　(rpm)	-	184
	耕幅　(mm)	-	600
	爪回転径　(mm)	-	400
	爪軸の形状・寸法　(mm)	-	六角　26.4

※この主要諸元は，改良のため予告なく変更することがあります。

付表

型式名		TG9000			
販　売　型　式　名		TG9000-M	TG9000-EM	TG9000-R	TG9000-ER
機体寸法	全長　(mm)	1940		2015	
	全幅　(mm)	735			
	全高　(mm)	1145		1130	
機体質量（重量）　(kg)		140	147	210	212
エンジン	型式名	EH252B	EH252BS	EH252B	EH252BS
	種類	空冷４サイクル立型 OHV ガソリンエンジン			
	総排気量　(L {cc})	0.251 {251}			
	連続定格出力 (kW {PS} / rpm)	4.0 {5.5} / 1500			
	最大出力　(kW {PS})	6.3 {8.5}			
	使用燃料	自動車用レギュラーガソリン			
	燃料タンク容量　（L）	4.5			
	始動方式	リコイルスタータ式	セルスタータ式（リコイルスタータ併用）	リコイルスタータ式	セルスタータ式（リコイルスタータ併用）
走行部	車輪（タイヤ）	5-12（セットボルト付）			
	輪距　(mm)	370 ～ 620			
	主クラッチ方式	ベルトテンション式			
	操向クラッチ方式	爪式			
	変速段数　(段)	前進：６（前進６速　けん制装置付）　後進：２（後進２速　けん制装置付）			
	走行速度　前進　(km/h)	0.80 ～ 8.4			
	走行速度　後進　(km/h)	0.59,　2.15			
	車軸〔ホイールチューブ〕の形状・寸法　(mm)	六角　対辺 31［六角内対辺 31，六角外対辺 44］			
	PTO 回転数　(rpm)	391			
ロータリ	駆動方式	-		センタドライブ ストレート仕様	
	変速段数　(段)	-		2	
	爪軸回転数　(rpm)	-		197，258	
	耕幅　(mm)	-		600	
	爪回転径　(mm)	-		400	
	爪軸の形状・寸法　(mm)	-		六角　26.4	

※この主要諸元は，改良のため予告なく変更することがあります。

走行速度一覧表

変　速	TG7000-S	TG7000-T	TG7000-K	TG9000	作業
	km/h（m/分）	km/h（m/分）	km/h（m/分）	km/h（m/分）	
前進１	0.52（8.7）	0.55（9.1）	0.59（9.9）	0.80（13.4）	・ロータリ耕うん作業 ・うね立て作業 ・代かき作業
前進２	0.88（14.7）	0.93（15.4）	1.00（16.7）	1.03（17.2）	
前進３	1.59（26.6）	1.67（27.8）	1.81（30.1）	2.32（38.6）	
前進４	3.03（50.5）	3.17（52.9）	3.43（57.2）	2.92（48.7）	・移動 ・ロータ耕うん作業
前進５	5.13（85.5）	5.37（89.5）	5.81（96.8）	3.75（62.6）	
前進６	9.2（154）	9.7（161）	10.46（174.3）	8.4（140）	・トレーラ作業　＊２
後進１	0.32（5.4）	0.34（5.7）	0.37（6.1）	0.59（9.8）	・移動　＊１
後進２	1.88（31.3）	1.97（32.8）	2.13（35.5）	2.15（35.8）	・トレーラ作業　＊２
定格回転数（rpm）	1500			1550	
タイヤサイズ	4.00-9	4.00-10	4.00-12	5.00-12	

＊１　ロータ作業時は禁止
＊２　公道でのトレーラ走行はできません。

爪軸回転速度一覧表

[TG7000]

爪軸回転数（rpm）
184

[TG9000]

副チェーンケース	爪軸回転数（rpm）
低速（14 × 16）	197
高速（16 × 14）	258

オプション部品

品名	品番	適用型式		備考	適用仕様
		TG7000	TG9000		
プーリボスカンビ	62088-8310-0	○	×	動力取出用のボス (PTO 軸に取付け)	全仕様
ヒラプーリ (75)	KK221-8411-0	×	○	エンジンプーリに取付け	全仕様
ヒラプーリ (90)	KK221-8412-0	×	○		
ヒラプーリ (100)	KK221-8413-0	×	○		
シャフトアッシ (エンジンプーリ)	KK221-8330-0	×	○	V プーリ取付け用軸 (エンジンプーリに取付け)	全仕様
プーリボスアッシ	62301-8310-0	×	○	動力取出用のボス (PTO 軸に取り付け)	全仕様
プーリボスアッシ 2	62301-8320-0	×	○		
ウエイト，アッシ (7)	KK216-8340-0	○	○	7kg+ 積重ね用ボルト付き (3 段積みは避けてください)	既ウエイト付仕様
ウエイト，アッシ (12)	KK226-8440-0	○	○	12kg+ 積重ね用ボルト付き (3 段積みは避けてください)	
ユニバーサルヒッチアッシ	62901-6603-0	○	○	板金タイプ（ヒッチピン付）	全仕様
ユニバーサルヒッチアッシ	62671-5260-5	○	○	板金タイプ（ヒッチピンなし）	
コウグアッシ	KK211-8350-0	○	×	スパナ 3 種、ドライバー、工具袋	全仕様
コウグアッシ	KK221-8350-0	×	○	スパナ 3 種、ドライバー、工具箱	
マッドガードアッシ	KK221-8380-0	○	○	フェンダ用ゴムタレ	全仕様 (M 仕様除く)
ジュウデンキアッシ	KK251-5560-0	×	○	バッテリ充電用	E 仕様
ホイールチューブアッシ	KF212-8390-0	○	×	L=288mm （セットボルト付）	全仕様 (K 仕様除く)
ホイールチューブアッシ	KK211-8390-0	○	○	L=228mm	全仕様
ホイールチューブアッシ	KF221-8390-0	○	○	L=243mm	全仕様
ホイールチューブアッシ (φ40)	KK221-8360-0	○	○	φ39.3 × L288mm	
テモトスタンドセット	KK211-8370-0	○	×	手元にてハンドル出し入れ	全仕様
TG7000 コンパクトロータリ	KF216-8001-0	○	×	耕幅 600mm	ロータリなし仕様
TG7000 フルカットロータリ	KF219-8001-0	○	×	耕幅 600mm	
TG9000 ヒョウジュンロータリ	KF226-8001-0	×	○	耕幅 600mm	
TG9000 フルカットロータリ	KF229-8001-0	×	○	耕幅 600mm	
ツメジク，アッシ (800 エンチョウ)	KK227-8420-0	×	○	耕幅 800mm 延長爪軸・カバー・爪一式	R 仕様
ツメジク，アッシ (800 エンチョウ)	KK229-8420-0	×	○	耕幅 800mm 延長爪軸・カバー・爪一式	F 仕様
ツメジク，アッシ (250 ゴウ)	KK228-8430-0	×	○	250 号爪 (耕うん機タイプ)・爪軸一式	R 仕様

標準付属部品

品名	数量 / 台	備考
取扱説明書	1	
保証書	1	
ガソリンメンテナンス要領書	1	
プラグボックス	1	
PTO 軸キャップ	1	(ロータリなし仕様は本機に装置)
ヒューズ (15A)	2	E 仕様のみ
キー	2	E 仕様のみ

主な消耗部品一覧表

● エンジン関係

品　名	品　番	数　量		備　考
		TG7000	TG9000	
スパークプラグ	E4181-6771-0	1	1	
フューエルチューブ	09664-6021-0	1	—	燃料タンクからフィルタポット
フューエルチューブ	09661-6023-0	—	1	燃料タンクからフィルタポット
フューエルチューブ	E3181-4218-0	1	—	フィルタポットから キャブレター
フューエルチューブ	E4181-4218-0	—	1	フィルタポットから キャブレター
エアクリーナエレメント	E3181-1141-0	1	—	
エアクリーナエレメント	E4181-1141-0	—	1	
ガスケット	E3181-1130-0	1	—	エアクリーナオイルパン用
ガスケット	E4181-1130-0	—	1	エアクリーナオイルパン用

● 本機関係

品　名	品　番	数　量		備　考
		TG7000	TG9000	
V ベルト（A40）	62421-6231-0	2	—	
V ベルト（C48）	53524-2152-0	—	1	
オイルシール	09500-0000-3	2	—	車軸用
オイルシール	62281-1719-0	—	2	車軸用
オイルシール	09500-1735-7	1	—	PTO 軸用
オイルシール	09500-2235-8	—	1	PTO 軸用
ホイルチューブピン	62131-1732-0	4	4	長さ 66mm
バネピン	62131-1729-0	4	4	
ケーブル（スタンド）	KF221-4312-0	—	1	
ケーブル（ブレーキ）	KK211-4301-0	1	—	
ケーブル（ブレーキ）	KK221-4301-0	—	1	
ケーブル（ロータリクラッチ）	KK216-3238-0	1	—	R・F 仕様
ケーブル（ロータリクラッチ）	KK226-3256-0	—	1	R・F 仕様
ケーブル（シュクラッチ）	KF211-4224-0	1	—	
ケーブル（シュクラッチ）	KK221-4224-0	—	1	
ケーブル（バックケンセイ）	KK216-4412-0	1	—	R・F 仕様
ケーブル（バックケンセイ）	KK226-4412-0	—	1	R・F 仕様
ケーブル（サイドクラッチ）	KK211-4217-0	2	—	
ケーブル（サイドクラッチ）	KK221-4217-0	—	2	
ケーブル（スロットル）	KF211-4212-0	1	—	
ケーブル（スロットル）	KF221-4212-0	—	1	
ケーブル（チョーク）	KF211-4321-0	1	—	
ケーブル（チョーク）	KF221-4321-0	—	1	
ヒューズ（15A）	66416-6293-0	—	1	E 仕様
ランプバルブ	PJ401-6844-0	—	1	12V15W　G18

● ロータリ関係
[TG7000・TG9000]

	品　名	品　番	数　量	備　考
ストレートロータリ（R 仕様）	A セット爪 -2	92181-9821-6	1	221 号左右各 7 本, 232 号左右各 1 本
	耕うん爪 221 号左	92181-1201-0	7	
	耕うん爪 221 号右	92181-1202-0	7	
	耕うん爪 232 号左	92181-1213-0	1	
	耕うん爪 232 号右	92181-1214-0	1	
	爪取付部品	63733-9620-0	16	ボルト，ナット, バネザガネ各 1 個
	特殊オイルシール	62252-3244-2	2	耕うん軸用
フルカットロータリ（F 仕様）	B セット爪 -2	92181-9822-6	1	221 号左右各 5 本, 225 号左右各 2 本, 234 号左右各 1 本
	耕うん爪 221 号左	92181-1201-0	5	
	耕うん爪 221 号右	92181-1202-0	5	
	耕うん爪 225 号左	92181-1207-0	2	
	耕うん爪 225 号右	92181-1208-0	2	
	耕うん爪 234 号左	92181-1215-0	1	
	耕うん爪 234 号右	92181-1216-0	1	
	爪取付部品	63733-9620-0	16	ボルト，ナット, バネザガネ各 1 個
	オイルシール（TC30467）	60741-1276-0	2	
	オイルシール（ジクツキ）	60741-1275-0	2	
	オイルシール（フレキシブル）	KK229-3257-0	2	

トラブルと処置

■ エンジンが始動しないとき

原　因	処　置
● 始動の手順が間違っている。	正しい順序で始動する。（10 ページの「運転のしかた」を参照）
● タンクにガソリンを入れたまま 1 ヵ月以上保管しガソリンが劣化した。	タンク・キャブレター内の劣化したガソリンを排出し，新しいガソリンを入れる。
● フィルタポットに水やゴミが混入している。	ポットを外してフィルタエレメントを清掃する。また新しい物と交換する。 キャブレター内のガソリンも排出する。
● チョークを引いた（閉じた）状態でリコイルを何回も引過ぎガソリンを吸いすぎた。	チョークを戻し（開き）リコイルを引くか，点火プラグを外して乾燥させる。
● エンジン停止後，燃料コックレバーを閉じないで本機を前に倒したり，車両で運搬したためキャブレターがオーバーフローした。	クランクケース内にガソリンが混入していたら新しいエンジンオイルと交換する。
● エアクリーナエレメントが目詰まりしている。	エレメントを外して清掃する。 または新しい物と交換する。
● 点火プラグの火花が弱い，飛ばない。	点火プラグを外して付着したカーボンを清掃する。または，新しい物と交換する。

■ エンジン回転が上がらない，不安定，出力が不足するとき

原　因	処　置
● エンジンが暖まってもチョークを引いた（閉じた）まま運転している。	チョークを戻す（開く）。
● フィルタポットに水やゴミが混入している。	ポットを外して清掃する。 キャブレター内のガソリンも排出する。
● エアクリーナエレメントが汚れている。	エレメントを外して清掃する。
● スロットルケーブルの引っ張りが不足している。	ケーブルのセット位置を調節する。

■ ハンドルのガタが多い

原　因	処　置
● ハンドル上下のガタが多い。	ハンドル締付ボルトを締め直す。

上記の処置をしてもトラブルが直らないときは，購入先にご相談ください。

修理・取扱い・手入れなどでご不明の点は　まず，購入先へ　ご相談ください

おぼえのため，該当する項目に記入されると便利です

購入先名 担当 電話番号（　　　）　　－		型式名
		区分
		車台番号（製造番号）
		エンジン型式 エンジン番号
ご購入日	キーナンバー	その他装着型式
		機械番号

※ご記入の際には、サービスと保証のページをご参照ください。
なお、型式により該当しない記入項目もあります。

ご購入先でご不明の点がございましたら，下記にお問合わせください。

クボタアグリサービス株式会社

事務所	電話	郵便番号	住所
秋田事務所	電(018)845-1601	〒011-0901	秋田市寺内字大小路207-54
仙台事務所	電(022)384-5162	〒981-1221	宮城県名取市田高字原182-１
東京事務所	電(048)862-1124	〒338-0832	さいたま市桜区西堀５－２－36
新潟事務所	電(025)285-1261	〒950-0992	新潟市中央区上所上１－14-15
金沢事務所	電(076)275-1121	〒924-0038	石川県白山市下柏野町956-１
名古屋事務所	電(0586)24-5111	〒491-0031	愛知県一宮市観音町１－１
大阪事務所	電(06)6470-5850	〒661-8567	兵庫県尼崎市浜１－１－１
岡山事務所	電(086)279-4511	〒703-8216	岡山市東区宍甘275
米子事務所	電(0859)39-3181	〒689-3547	鳥取県米子市流通町430-12
福岡事務所	電(092)606-3161	〒811-0213	福岡市東区和白丘１－７－３
熊本事務所	電(096)357-6181	〒861-4147	熊本市南区富合町廻江846-１
株式会社北海道クボタ本社	電(011)661-2491	〒063-0061	北海道札幌市西区西町北16-１－１
株式会社四国クボタ本社	電(087)874-8500	〒769-0102	香川県高松市国分寺町国分字向647-３

株式会社クボタ

事務所	電話	郵便番号	住所
国内農機カスタマーセンター	電(072)241-1375	〒590-0823	大阪府堺市堺区石津北町64

TG7000/9000
AT．D．7-10．1．AK

Kubota

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者が
一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

このラベルは「(社)日本陸用内燃機関協会排出ガス自主規制適合エンジン」であることを示しています。

株式会社クボタ
〒556-8601
大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

品番　KF221-6511-4